

2024
Fire Fighting Annual Report

消防年報

令和5年版



十日町地域広域事務組合
十日町地域消防本部・署

(令和6年度刊行)

十日町地域広域事務組合組合章



組合章の由来

円中央の三つのデザインは、事務・事業の「J」、十日町の「T」、地域の「T」のアルファベット頭文字を表し、事務・事業は管内市町ですべき一部事務を当組合で処理することを意図しています。

また、楕円は地域がスクラムを組んで連携強化を図り、外側の円は地域住民生活の安全と豊かさを守ることを表現したものです。

十日町消防エンブレムマーク



エンブレムマークの由来

エンブレム中央上部に雪の結晶を配し、消防の象徴であるホースとロープ及び炎を周囲に配しました。

雪の結晶は、豪雪地帯である十日町広域の旧6市町村を意味し、その周囲をホースとロープで囲むことにより、地域を守る消防をアピールしています。またロープの色は、十日町市に出土した国宝の縄文式土器の縄の茶色とし、黄色の下地はコシヒカリの稲穂をイメージしたものです。

消防、救急をはじめ、災害の形態が多種多様化している中、このエンブレムをつけることにより、多種多様な災害や課題に対して、団結力を強め、積極的に対応していく組織となるよう平成20年4月1日に制定されました。



事故車両からの救出を想定した車両破壊訓練



はしご車を使用した放水訓練



十日町地域広域事務組合
発足 50 周年記念誌

この消防年報は、令和5年中の十日町地域広域事務組合の主要な消防業務と現有消防力全般にわたる事項を収録し、消防状況の逐年傾向を把握するため、特に必要なものについては、過去にさかのぼり累年表を加え編集しました。

各表は、主に令和5年1月から令和5年12月までの1年間を統計し、これによらない表や単位については、必要に応じて各表の上部に記載しました。

INDEX

もくじ

十日町地域広域事務組合の位置・地勢	4
面積・人口・世帯数	4
十日町地域広域事務組合消防のあゆみ	5
十日町地域広域事務組合消防災害年表	11
歴代管理者・消防長	14
十日町地域消防本部の機構図	15
消防本部・消防署・分署配置図	16

【 総務編 】

1 消防庁舎等の現況	17
2 消防費予算状況	17
3 過去5年間の消防費決算状況	18
4 人口、世帯に対する消防吏員、 団員、ポンプ車の割合	18
5 基準消防力と現有消防力の比較（常備分）	18
6 消防職員の階級別配置状況	19
7 消防職員の階級別勤続状況	19
8 消防職員の階級別年齢調	19
9 消防職員の消防学校等教育受講状況	20
10 消防職員採用等の状況	20
11 消防職員退職状況	20
12 給与及び勤務の状況	20

【 警防編 】

1 消防機関の出動状況	21
2 市町別救助出動状況	21
3 消防職員一般教育、訓練実施状況	22
4 消防本部・署・分署車両等配置状況	24
5 消防ポンプ車等現有状況	25
6 緊急消防援助隊登録状況	25
7 消防・救急応援協定締結状況	25
8 特殊機械器具現有状況	26
9 消防水利市町別設置状況	28
10 公設消火栓管径別設置状況	28
11 火の見やぐら、消防器具置場設置状況	28
12 令和5年度主な施設等整備状況	29

【 予防編 】

1 火災総括表	30
2 市町別火災発生件数	30
3 月別火災発生状況	31
4 過去5年間の時間帯別火災発生状況	31
5 過去5年間の原因別火災発生状況	32
6 過去5年間の火災による死傷者の数	32
7 過去5年間の火災による損害額の状況	32
8 過去5年間の火災発生状況	33
9 建築確認申請用途及び建築通知、 工事別処理状況	34
10 消防用設備等(特殊消防用設備等)着工届・ 設置届受理状況	35
11 防火対象物の状況（棟数）	36
12 中高層建築物の現況（防火対象物）	37
13 防火管理者選任状況	38
14 火災予防条例による届出状況	39
15 危険物製造所等施設状況	39
16 危険物の許可数量と類別	40
17 危険物製造所等の申請届出状況	41
18 危険物施設の許可区分構成比	42
19 危険物施設の市町別構成比	42

【 通信編 】

1 消防通信施設状況	43
2 無線電話機設置状況	44
3 消防団無線電話機設置状況	45
4 システム系統図	46
5 通信指令室系統図	47
6 119番等受信状況	48
7 災害情報問い合わせ状況	48
8 口頭指導実施状況	48
9 年間気象状況	49

【 救 急 編 】

1	過去5年間の救急出動件数の推移	50
2	市町別等の救急出場状況	51
3	月別救急出動状況	52
4	搬送人員の区分（年齢区分・ 傷病程度・事故種別）	53
5	搬送先医療機関の状況（休日・昼夜別）	54
6	転院搬送人員	55
7	覚知時間帯別救急出動件数	56
8	覚知曜日別救急出動件数	56
9	現場到着所要時間別出動件数	56
10	医療機関収容所要時間別搬送人員	56
11	搬送人員の性別割合	56
12	ドクターヘリの状況	56
13	救急救命処置の実施状況等	57
14	心肺停止症例に関連する数値	57
15	応急手当普及啓発講習の状況	57

【 消 防 団 編 】

1	歴代消防団長・方面隊長	58
2	消防団員の報酬（年額）	59
3	消防団員の出動手当	59
4	消防団員の退職報償金受給状況	60
5	消防団員の配置状況（実員）	60
6	消防団員の新任状況	60
7	消防団員の退職状況	60
8	消防団員の職業別状況	61
9	消防団員の勤続状況	62
10	消防団員表彰状況	63
11	消防団員の年齢状況	64
12	消防団の出動状況	66
13	消防団員一般教育訓練、訓練実施状況	66
14	消防団車両・ポンプ一覧表	67
15	消防団小型動力ポンプ一覧表	68
16	消防団幹部名簿	69

■管内位置図



■十日町地域広域事務組合の位置・地勢

この圏域は新潟県の南西部に位置し、東西 32 km、南北 43km の広がりを持ち、総面積は 760.6km²で新潟県の 6.1%を占める地域です。周囲は長岡圏、柏崎圏、上越圏、魚沼圏及び長野県の北信圏に隣接し、圏域の東側は、魚沼圏との境界の山脈台地に標高 2,145mの苗場山を中心とする山岳地帯に連なり、西側は上越圏との境界に標高 540mの鍋立山があります。河川は、圏域の中央部を信濃川が長野県境より北に貫流し、県の主要な河川である浪海川、清津川、中津川等が流れ、圏域の最南東部は清津峡をはじめとして、上信越高原国立公園に指定されているほか、信濃川によってもたらされた雄大な河岸段丘は変化に富んで美しい自然環境をなしています。



■面積・人口・世帯数

管内市町村の現状をお知らせいたしますので、調査等の参考にしてください。

区分	面積 (Km ²)	令和2年国勢調査(確定)		令和6. 3. 31基準		令和5. 12. 31基準		令和4. 12. 31基準	
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
十日町市	590.39	49,820	18,012	47,627	19,394	48,132	19,464	49,177	19,573
十日町地域	212.77	—	—	33,392	13,529	33,755	13,573	34,390	13,611
川西地域	73.55	—	—	5,559	2,168	5,603	2,167	5,764	2,173
中里地域	128.97	—	—	4,478	1,747	4,526	1,756	4,642	1,775
松代地域	90.47	—	—	2,589	1,196	2,617	1,202	2,702	1,233
松之山地域	86.31	—	—	1,609	754	1,631	766	1,679	781
津南町	170.21	8,989	3,119	8,598	3,425	8,865	3,453	9,057	3,467
合計	760.60	58,809	21,131	56,225	22,819	56,997	22,917	58,234	23,040

十日町地域広域事務組合消防のあゆみ

<p>昭和47年 4月20日 十日町地域広域事務組合設立許可(県知事) 4 市町村(十日町市、川西町、津南町、中里村)で、と畜場、福祉センター事務を共同処理</p> <p>4月24日 十日町地域広域市町村圏協議会の事業として、昭和48年4月を目標に一部事務組合方式で広域消防の実施が決定(広域市町村圏振興整備計画)</p> <p>10月11日 広域消防に関する消防本部・署設置義務政令指定申請書を、県を通じ自治省に提出</p>	<p>6月 1日 日赤救急車(トヨタコミュニーター)を津南分遣所に配置</p>
<p>昭和48年 4月 1日 十日町地域広域事務組合同約変更県知事許可により、既設十日町市消防本部・署を廃止し組合消防本部・署、消防団4団を設置 1 本部1 署(職員49人)、4 団(団員3,237人) 機械施設等は十日町市消防本部・署、各市町村消防団施設を引き継ぎ、広域消防業務開始警防課へ救急係を新設</p> <p>4月 5日 自治省告示第74号により、川西町、津南町、中里村に消防本部・署、設置義務に関する政令指定</p> <p>9月 1日 職員16人採用増員(総員65人)</p> <p>10月 1日 川西、津南両分遣所が職員各9人で業務開始消防ポンプ自動車(ニッサン)購入川西分遣所に配置</p> <p>10月23日 県単補助事業により救急車(トヨタコミュニーター)購入本署に配置</p> <p>10月25日 消防ポンプ自動車(ニッサン)購入津南分遣所に配置</p> <p>11月 1日 日本自動車工業会から救急車(トヨタコミュニーター)の寄贈を受け川西分遣所に配置</p> <p>11月 9日 川西分遣所庁舎竣工(川西町霜条地内)</p> <p>11月20日 津南分遣所庁舎竣工(津南町正面地内)</p>	<p>昭和51年 1月31日 県単補助事業により泡放射砲購入本署に配置</p> <p>3月20日 中里村消防団車庫兼詰所竣工</p> <p>6月16日 十日町市消防後援会から軽自動車の寄贈を受け連絡車として本署に配置</p>
<p>昭和49年 5月 1日 職員4人採用、分遣所各11人(総員69人)</p> <p>6月 1日 総務課庶務消防団係を庶務係と消防団係へ分割、予防課を新設し警防課予防係と救急係を予防課へ移管</p> <p>6月29日 自治省告示第131号により、川西町、津南町、中里村救急業務に関する政令指定</p> <p>10月 4日 十日町地域消防本部・署庁舎竣工 (十日町市川治内後地内)</p> <p>10月14日 消防本部にC型緊急指令装置、構内電話交換設備設置工事完了</p> <p>10月26日 指令車(マツダルーチェバンデラックス)の寄贈を受け川西分遣所に配置</p>	<p>昭和52年 2月28日 ドア付消防車(ニッサンパトロール)購入本署に配置</p> <p>4月 1日 職員3人退職、1人採用(総員70人) 総務課に中里詰所を新設</p> <p>6月14日 本署日赤救急車更新(ニッサンシビリアン)</p>
<p>昭和50年 5月 1日 職員3人増員、分遣所各13人(総員72人)</p>	<p>昭和53年 4月 1日 職員3人退職、6人採用(総員73人) 予防課救急係を警防課へ移管</p>
	<p>昭和54年 3月28日 救助工作車(ニッサンコンドル)購入本署に配置</p> <p>4月 1日 職員3人採用、津南分遣所15人体制(総員76人)</p> <p>7月30日 津南分遣所指令車(トヨペットクラウン)更新</p>
	<p>昭和55年 3月28日 消防本部に救急医療情報システム端末設備設置(県委託)</p> <p>4月 1日 通信救急課と通信係を新設、救急係を警防課から通信救急課へ移管</p> <p>5月19日 中里村に消防連絡車(ニッサンブルーバード)配置</p> <p>6月 1日 職員1人退職、1人採用(総員76人)</p> <p>6月 9日 日赤からⅢB型救急車(ニッサンシビリアン)の寄贈を受け川西分遣所に配置</p> <p>7月15日 本署に指令車(トヨペットクラウン)配置</p> <p>8月 1日 新潟県消防学校へ1人教官派遣(4か月)</p> <p>10月 5日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(トヨタランドクルーザー)の寄贈を受け本署に配置</p>
	<p>昭和56年 4月 1日 職員1人退職、3人採用(総員78人)</p> <p>8月 1日 川西分遣所2人増員し15人体制</p> <p>9月 3日 本署に連絡車(スズキジムニー)配置</p>
	<p>昭和57年 3月 3日 十日町地域消防本部、津南町消防団が消防庁長官から竿頭授受章</p> <p>4月 1日 職員1人退職、1人採用(総員78人)</p>

6月11日	本署に気象観測収録装置設置	昭和62年	
7月23日	本署日赤救急車(ニッサンシビリアン)更新	1月 1日	本署に救助分隊を編成
11月17日	津南町消防団が水防功労により北陸地区治水会から表彰される	4月 1日	通信救急課廃止し、警防課へ通信係と救急係統合
12月14日	本署連絡車(スバルレックス)更新	8月 3日	本署日赤救急車(トヨタ 4WD)更新
昭和58年		10月14日	本署泡放射砲積載車(三菱キャンター4WD)更新
4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 78 人)	昭和63年	
5月14日	本署指揮連絡車(スバルレオーネ)更新	8月 7日	第 39 回新潟県消防大会を十日町市で開催(ポンプ車操法の部で十日町市消防団優勝)
6月 1日	十日町市消防団、災害の発生防止、復旧事業促進の功により全国防災協会から表彰される	8月26日	日本消防協会から指令広報車(三菱ランサーバン DX)の寄贈を受け津南分遣所に配置 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車(トヨタハイエース)の寄贈を受け川西町消防団に配置
6月 5日	十日町市消防団、水防功労により信濃川・魚野川水防連絡会から表彰される	10月12日	第 11 回全国消防操法大会(於:横浜市) 十日町市消防団第 16 分団がポンプ車操法に出場
8月 2日	津南分遣所日赤救急車(ニッサンキャラバン)更新	平成元年	
9月 9日	川西分遣所指揮連絡車(ニッサンダットサン)更新	3月20日	本署屈折はしご付消防ポンプ自動車更新(30m級はしご付消防自動車〔東急メッツDL30h型〕)
12月 9日	本署訓練塔建設工事竣工	4月 1日	職員 4 人退職、4 人採用(総員 81 人) 予防課へ危険物係を新設 新潟県消防学校へ 1 人教官派遣(6 か月)
昭和59年		7月28日	本署指令車(ニッサングロリア)更新
1月14日	本署化学車更新、旧化学車津南分遣所へ配置換え	8月20日	第 40 回新潟県消防大会(於:朝日村) 小型ポンプ操法の部で中里村消防団優勝
2月10日	中里村消防団、日本消防協会から表彰旗受章	12月10日	本署訓練塔補強増設
3月25日	広域事務組合発足 10 周年記念式典挙行	12月22日	本署消防ポンプ自動車 2 号車(三菱キャンター 4WD A-2 級)更新
4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 78 人)	平成 2年	
4月18日	職員 1 人退職(総員 77 人)	2月14日	川西町消防団、日本消防協会から表彰旗受章
11月 6日	津南分遣所消防ポンプ自動車(ニッサンサファリ A-2 級)更新	3月20日	緊急指令装置 II 型(NEC)更新
12月17日	中里村消防団、消防庁長官から災害現場功労表彰受章	4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 81 人)
昭和60年		6月30日	職員 1 人退職(総員 80 人)
2月 8日	十日町市消防団、日本消防協会から竿頭授受章	9月 7日	津南分遣所救急車(ニッサンホームミー 4WD)更新
4月 1日	職員 4 人採用(総員 81 人) 地域消防史編纂プロジェクトチーム編成 総務課中里詰所を廃止し、中里消防係新設	10月27日	第 1 回消防ひろば開催
9月 1日	中里村消防団、災害現場功労により内閣総理大臣から表彰される	12月20日	緊急情報システム、無線統制台設置
9月 2日	川西分遣所消防ポンプ自動車(イスズエルフ A-2 級)更新	12月27日	本署消防ポンプ自動車 3 号車(三菱キャンター 4WD A-2 級)更新
昭和61年		平成 3年	
4月 1日	職員 3 人退職、3 人採用(総員 81 人)	2月28日	職員 1 人退職(総員 79 人)
8月 7日	川西分遣所日赤救急車(イスズファーゴ 4WD)更新	3月 6日	中里村消防団、消防庁長官から竿頭授を受章
12月10日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 81 人)	4月 1日	職員 1 人退職、5 人採用(総員 83 人)

8月 1日	職員 1 人採用(総員 84 人)
平成 4年	
3月25日	本署救助工作車(Ⅱ型三菱ふそう 8t級)更新
4月 1日	職員 2 人退職、3 人採用(総員 85 人)
6月15日	中里詰所連絡車更新(スバルレガシー4WD)
8月25日	消防だより「火の用心」創刊号を発行
12月29日	十日町市消防団本部分団に資機材搬送車(ダイハツハイゼット 4WD)配置
平成 5年	
3月25日	津南分遣所消防ポンプ自動車(三菱キャンター 4WD A-2 級)更新
4月 1日	職員 4 人採用(総員 89 人) 完全週休二日制(週 40 時間勤務)実施 消防署の勤務体制を三交替制とし試行開始 総務課文書広報係、警防課訓練救助係新設
6月 4日	本署指令 2 号車(スズキエスクード)更新
8月 5日	川西分遣所日赤救急車(トヨタハイエース 4WD)更新
8月25日	川西分遣所指揮連絡車(トヨタランドクルーザー 4WD)更新
9月 1日	十日町地域広域事務組合 20 周年記念事業として、組合章、組合旗、マスコットマーク制定
10月 1日	広域事務組合発足 20 周年記念事業として記念誌「鎮(しずめ)」発行
平成 6年	
4月 1日	職員 2 人退職、1 人採用(総員 88 人)
5月31日	職員 1 人退職(総員 87 人)
7月28日	本署救急1号車(トヨタアンビュランス 4WD)更新
8月 1日	職員 2 人採用(総員 89 人)
8月26日	本署連絡 2 号車(三菱ミニキャブ 4WD)更新
9月30日	川西分遣所庁舎増改築工事竣工
10月27日	本署訓練場造成工事竣工
平成 7年	
3月 3日	川西町消防団、消防庁長官から竿頭綬を受章
4月 1日	職員 1 人採用(1 人退職、総員 89 人)
11月 1日	職員 1 人採用(総員 90 人)
12月25日	本署連絡 1 号車(ニッサンホームー)更新
平成 8年	
2月14日	本署化学車(Ⅱ型イズフオワード 4WD)更新
4月 1日	職員 3 人退職、3 人採用(総員 90 人) 家畜指導診療所が組合へ編入 組合総務課事業係を廃止
12月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 90 人)

平成 9年																			
3月24日	津南分遣所を卯ノ木地内に移転・新築竣工																		
4月 1日	国のモデル広域指定を受け、本部・署の組織を一部変更し東頸城郡松代・松之山両町の消防事務を共同処理することとなり、1 市 4 町 1 村で構成する新たな広域消防業務を開始 上越地域消防事務組合から東頸消防署松代分遣所・松之山分遣所の施設、車両等の譲渡を受け、名称を「十日町地域消防署松代分遣所・松之山分遣所」として編入 津南分遣所は卯ノ木地内に庁舎を新築し中里詰所との機能統合を図り「十日町地域消防署南分署」とし、川西分遣所は「西分署」と改称 新たに職員 23 人を採用(うち派遣職員 5 人) 松代・松之山両町消防団の機械施設等を引き継ぎ、消防団 2 団を編入 1 本部 1 署 2 分署 2 分遣所、6 消防団(職員 113 人、消防団員 3,156 人)体制																		
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">上越地域消防事務組合から譲渡を受けた車両</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〈松代分遣所〉</td> </tr> <tr> <td>消防車</td> <td>(イズヴェルフ 250 スーパー)</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>(トヨタハイエース)</td> </tr> <tr> <td>指揮連絡車</td> <td>(スズキジムニー)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">〈松之山分遣所〉</td> </tr> <tr> <td>消防車</td> <td>(ニッサンサファリ)</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>(トヨタハイエース)</td> </tr> <tr> <td>指揮連絡車</td> <td>(スズキエブリー)</td> </tr> </table>	上越地域消防事務組合から譲渡を受けた車両		〈松代分遣所〉		消防車	(イズヴェルフ 250 スーパー)	救急車	(トヨタハイエース)	指揮連絡車	(スズキジムニー)	〈松之山分遣所〉		消防車	(ニッサンサファリ)	救急車	(トヨタハイエース)	指揮連絡車	(スズキエブリー)
上越地域消防事務組合から譲渡を受けた車両																			
〈松代分遣所〉																			
消防車	(イズヴェルフ 250 スーパー)																		
救急車	(トヨタハイエース)																		
指揮連絡車	(スズキジムニー)																		
〈松之山分遣所〉																			
消防車	(ニッサンサファリ)																		
救急車	(トヨタハイエース)																		
指揮連絡車	(スズキエブリー)																		
	総務課庶務消防団係と中里消防係を廃止し、庶務係、消防団係を新設																		
9月 1日	新潟県・十日町市総合防災訓練を十日町市で開催																		
9月 8日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車(ニッサンコンドル A-1 級)の寄贈を受け南分署に配置																		
平成10年																			
1月25日	西分署消防車(ニッサンアトラス A-2 級)更新																		
3月31日	日本自動車工業会から高規格救急車(トヨタ HIMEDIC 型)の寄贈を受け本署に配置																		
4月 1日	職員 2 人退職、5 人帰属、7 人採用(総員 113 人)																		
11月26日	南分署救急車(トヨタアンビュランスⅡ-B型 4WD)更新																		
平成11年																			
4月 1日	職員 2 人採用(2 人退職、総員 113 人)																		
6月11日	十日町ライオンズクラブから赤バイ 2 台(ヤマハセロー 225)の寄贈を受け本署に配置																		
6月30日	松代分遣所査察広報車(ニッサンウイングロード 4WD)更新																		
12月16日	松代分遣所救急車(トヨタグランビアⅡ-B型 4WD)更新																		
平成12年																			
1月17日	松之山分遣所消防車(三菱キャンターCD-I 型 4WD)更新																		

4月 1日	職員 6 人退職、6 人採用(総員 113 人) 組合総務課と畜場を閉場	8月12日	十日町ロータリークラブから救急訓練人形 7 体 寄贈を受ける
6月 1日	十日町大火 100 周年記念総合防災訓練実施 「消防史」発行	10月28日	本署に指揮車(マツダボンゴ)を配置
7月19日	本署指令車(ニッサンセドリック 4WD)更新 インパルス(新消火システム)2 台配備	11月28日	日本損害保険協会から高規格救急車(トヨタ HIMEDIC 型)の寄贈を受け南分署に配置
8月21日	分署日赤救急車(トヨタグランビア II-B型 4WD)更新	平成18年	
平成13年		4月 1日	職員 3 人退職、3 人採用(総員 115 人) 新潟県消防学校教官派遣解除 予防課へ査察指導係を新設、警防課通信指令 室を総務課へ移管、警防課救急救助係を廃止 し、救急係と救助装備係を新設
4月 1日	職員 4 人採用(3 人退職、総員 114 人) 新潟県消防防災航空隊へ 1 人派遣(2 年間) 警防課へ通信指令室を設置	4月10日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 115 人)
7月18日	松代分遣所消防車(日野CD- I 型 4WD)更新	10月 1日	十日町市消防団女性部発足 (入団 14 人)
7月26日	本署救急 2 号車(トヨタグランビア II-B型 4WD) 更新	12月19日	本署消防 1 号車(日野CD- I 型 4WD)更新 ※緊急消防援助隊仕様
8月22日	南分署指令 1 号車(ニッサンウイングロード 4WD)更新	平成19年	
平成14年		4月 1日	職員 3 人退職、3 人採用(総員 115 人) 組合企画振興課を廃止し総務課へ企画振興係 新設 総合福祉センターを津南町へ移管
4月 1日	職員 4 人退職、4 人採用(総員 114 人)	4月 6日	新潟県消防職員意見発表会(於:佐渡市)で最 優秀賞を受賞
8月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 114 人)	11月29日	本署救急 1 号車(トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様、高規格救急車
平成15年		平成20年	
2月 7日	十日町市消防団、日本消防協会から特別表彰 「まとい」受賞	2月12日	十日町市消防団十日町方面隊本部分団第2部 第 1 班「防火幕」の歴史に幕、多目的災害対応 班へ
4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 114 人) 新潟県消防防災航空隊派遣解除	2月29日	十日町市消防団が日本消防協会から防災活動 車(ダイハツハイゼット)の寄贈を受け、十日町 連絡 3 号車とし本署に配置
平成16年		3月21日	十日町市消防団十日町方面隊本部分団のポン プ自動車(日野 CD- I 型 4WD)更新
2月 1日	広域事務組合発足 30 周年記念事業として記念 誌「鎮(しずめ)」発行	4月 1日	職員 8 人退職、8 人採用(総員 115 人) 警防課警防施設係と救助装備係を統合し、警 防係新設、警防課訓練指導係を廃止し救助係 新設
2月26日	十日町地域メディカルコントロール協議会設立	7月 1日	平成 19 年度退職者から十日町地域消防本部・ 署旗の寄贈を受ける
4月 1日	職員 3 人退職、2 人採用(総員 113 人) 新潟県消防学校へ 1 人教官派遣(2 年間)	8月 3日	第 59 回新潟県消防大会を十日町市で開催
7月13日	平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨 新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要 請、災害派遣人員 37 人(三条市ほか)	10月27日	新潟県立十日町病院と救急現場における救急 業務に関する協定書締結
平成17年		平成21年	
4月 1日	5 市町村(十日町市、川西町、中里村、松代町、 松之山町)が合併し、新十日町市誕生 合併に伴い旧市町村消防団を統合し、十日町 市消防団 5 方面隊体制とした 職員 7 人採用(5 人退職、総員 115 人) 総務課文書広報係、警防課警防係、機械係、 救急係、訓練救助係を廃止し、警防装備係、救 急救助係、訓練指導係を新設	2月 5日	本署消防 2 号車(日野 CD- II 型 4WD CAFS 搭載)更新 ※緊急消防援助隊仕様
5月20日	高機能消防指令センター(I 型)運用開始	3月23日	消防団協力事業所表示制度を導入 (認定事業所表示証交付式開催)
7月28日	松之山分遣所日赤救急車(トヨタグランビア II- B型 4WD)更新		

4月 1日	職員 5 人退職、6 人採用(総員 116 人) 津南町消防団女性部発足(入団 10 人) 総務課通信指令室を警防課へ移管、企画広報係新設、警防課救助係を廃止し消防署防災救助係新設	平成26年 4月 1日	職員 4 人採用(職員 2 人退職、総員 116 人) 南分署 3 人増員(20 人)、西分署 3 人減員(13 人) 消防庁舎建設準備室を建設事業室へ名称変更
9月20日	「消防ひろば」が 20 回を迎える	11月14日	消防救急デジタル無線局舎、十日町市堀之内城山地内に竣工
11月24日	西分署日赤救急車を高規格救急車(トヨタハイエース)に更新	平成27年 4月 1日	職員 5 人採用(職員 6 人退職、総員 115 人) 新潟県消防防災航空隊へ 1 人派遣(3 年間)
12月10日	泡放射砲積載車を廃車し、資機材搬送車(日野レンジャー4WD)を本署に配置	10月31日	新消防本部庁舎、四日町新田地内に竣工
平成22年 4月 1日	職員 5 人退職、5 人採用(総員 116 人) 新潟県消防学校へ 1 人教官派遣(2 年間) 消防本部総務課に消防庁舎建設準備室、企画事業係を新設	平成28年 1月29日	本署化学車(日野レンジャー)更新 ※緊急消防援助隊仕様
4月15日	本署救急 2 号車(高規格救急車、トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様	3月31日	川治内後地内の消防本部と霜条地内の西分署を閉庁 総務課消防庁舎建設事業室を廃止
8月25日	総務省消防庁から多目的防災活動車貸与。十日町市消防団十日町方面隊本部分団へ配置	4月 1日	新消防本部庁舎運用開始(四日町新田地内) 職員 1 人退職、1 人採用(総員 116 人) 消防救急無線のデジタル化運用開始 総務課庶務広報係を廃止し庶務係と企画広報係新設、警防課救急管理係を廃止し警防課救急室と救急係新設、消防署救急救助課と救急指導係廃止
10月28日	松之山分遣所救急車(高規格救急車、トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様	5月 2日	十日町地域救急ステーション運用開始(県立十日町病院内)
平成23年 4月 1日	職員 3 人採用(職員 5 人退職、総員 114 人) 松代・松之山分遣所を統合、十日町市松之山小谷地内に「しづみ分署」を開署し、業務を開始(分署長・副分署長・当直各 5 人体制) 警防課救急係を廃止し救急管理係新設、消防署へ救急救助課と救急指導係新設、総務課庶務係と企画広報係を廃止し庶務広報係新設	11月 2日	南救急 1 号車(トヨタ ハイエース)更新
11月 9日	十日町地域消防本部、東日本大震災において現場での救急救助活動などの功績により、総務大臣表彰受賞	12月26日	連絡 2 号車廃車に伴い川西方面隊中仙田積載車(日産アトラス)を本署に所管替え、連絡 2 号車とする
11月25日	十日町市消防団、平成 23 年新潟・福島豪雨に際し水防活動の功績により、国土交通大臣表彰受賞	12月31日	消防署訓練塔竣工
11月26日	本署指揮連絡 1 号車(トヨタハイエース)更新	平成29年 2月22日	本署指令車(トヨタ エスクエア)更新
平成24年 4月 1日	新潟県消防学校教官派遣解除 職員 4 人退職、4 人採用(総員 114 人)	3月13日	職員 1 人退職(総員 115 人)
12月 7日	本署救助工作車(日野レンジャー)更新 ※緊急消防援助隊仕様	4月 1日	職員 6 人退職、5 人採用(総員 114 人)
平成25年 4月 1日	職員 3 人採用(職員 3 人退職、総員 114 人)	10月 6日	本署救急 1 号車(トヨタ ハイエース)更新
7月 1日	職員 1 人退職に伴い 1 人採用(総員 114 人)	11月16日	十日町はしご 1 号車(日野屈折はしご付消防ポンプ自動車)更新
9月 1日	新潟県・十日町市総合防災訓練を十日町市で開催	平成30年 4月 1日	新潟県消防防災航空隊派遣解除 職員 1 人退職、2 人採用(総員 115 人) 南分署 3 人増員(23 人)、小隊体制とし警防分隊と救急分隊を編成、しづみ分署 3 人減員(14 人)
10月28日	広域事務組合発足 40 周年記念事業として講演会を開催し、記念誌「鎮(しづめ)」を発行	7月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 115 人)
		8月 1日	(株)玉垣製麺所と災害等における物資の供給に関する協定を結ぶ

平成31年

4月 1日 職員 5 人退職、5 人採用(総員 115 人)
救急ステーション救急 3 号車(トヨタハイエース)
更新

令和元年

7月 1日 一般財団法人ドローン普及協会と「災害時にお
ける無人航空機による支援協力に関する協定」
を締結

9月 8日 「消防ひろば」が 30 回を迎える

12月 3日 指揮車(災害対応特殊消防車、トヨタハイエ
ース)更新

12月 6日 職員 1 人退職(総員 114 人)

令和 2年

4月 1日 職員 7 人退職、5 人採用、2 人再任用(総員 114
人)

11月 30日 十日町地域消防ヘリポート竣工

12月 5日 消防だより「火の用心」100号発行

12月 17日 しぶみ救急 1 号車(トヨタ ハイエース)更新

令和 3年

4月 1日 職員 4 人退職、3 人採用、1 人再任用(総員 115
人)
十日町地域消防ヘリポート運用開始

12月 5日 一般財団法人オフロードビークル協会と「災害
時におけるオフロードビークルを活用した支援
協力に関する協議書」を締結

令和 4年

3月 24日 十日町救急 2 号車(日産 キャラバン)更新

4月 1日 職員 3 人退職、2 人採用(総員 114 人)

令和 5年

4月 1日 職員 3 人退職、1 人採用、1 人再任用(総員 113
人)

10月 3日 十日町地域広域事務組合発足 50 周年記念事
業として講演会を開催し、記念誌「鎮(しずめ)」
を発行

令和 6年

4月 1日 職員 1 人退職、2 人採用、1 人再任用(総員 114
人)

十日町地域広域事務組合消防災害年表

<p>昭和49年</p> <p>1月23日 豪雪による飯山線不通のため、消防団57人が除雪の応援に出動</p>	<p>9月12日 台風18号により清津川が増水、13日に清津川橋が崩落し国道117号線が通行止めとなる。また国道405号線樽田、小島間で土砂崩れ、信濃川付近の集落小島・巻下・足滝・反里の堤防が決壊</p>
<p>昭和51年</p> <p>1月21日 上郷の信濃川にかかる吊り橋が雪の重みで中央部から切れる、通行中の1人は無事</p> <p>1月22日 雪崩のため秋山郷の80戸が停電 信越県境、田沢と鹿渡間で大規模な雪崩が発生</p> <p>4月15日 下条平地内で融雪水と降雨による土砂崩れ 幅10m、長さ15m、厚さ2m、約300 m³</p> <p>12月 豪雪により災害救助法が適用 最大積雪深 3m14cm、負傷者11名</p>	<p>9月13日 台風18号により信濃川の出水、信濃川堤防の被害が発生</p> <p>昭和58年</p> <p>9月26日 台風10号による豪雨のため各地で河川が氾濫</p> <p>9月30日 台風10号による信濃川出水、下島地内で堤防決壊15m、作業中の消防団員1名死亡</p> <p>11月 豪雪により災害救助法適用 最大積雪深 3m63cm 死者6名、負傷者1名 避難勧告15世帯 豪雪対策本部設置</p>
<p>昭和52年</p> <p>2月14日 飯山線越後田中と津南間で雪崩が発生し、列車が乗り上げて1両が脱線する</p> <p>3月14日 横手の県道で地滑りが発生、約30mにわたって根こそぎ流され、903戸が停電</p>	<p>昭和59年</p> <p>1月28日 県災害救助条例適用、対象22世帯</p> <p>2月7日 災害救助法の適用、対象22世帯 雪崩災害危険による避難勧告、1世帯2人</p> <p>2月9日 清津峡温泉で大規模な雪崩発生、温泉旅館2棟全壊、3棟損壊、死者5名、負傷者2名</p> <p>12月 豪雪により災害救助法適用 最大積雪深 2m95cm 死者1名、負傷者13名 豪雪対策本部設置</p>
<p>昭和53年</p> <p>2月5日 清津峡で雪崩、旅館を直撃、1棟全壊</p> <p>6月26日 信濃川支流が増水決壊。国県道、鉄道が不通、水害対策部設置</p>	<p>昭和60年</p> <p>7月7日 8日0時から12時までの降水量が104mmに達し、鉢で土砂崩れが発生</p> <p>8日</p> <p>11月 豪雪により県災害救助条例適用 最大積雪深 3m24cm 死者1名、負傷者6名 雪崩被災箇所警戒</p>
<p>昭和54年</p> <p>9月18日 駒返で火災、放火により工場併用住宅1棟全焼、焼死者4名、負傷者1名</p>	<p>昭和61年</p> <p>1月27日 願入地内で雪崩により牛舎崩壊</p> <p>5月1日 川治内後でキャブタイヤケーブルの短路から火災、住宅及び作業所3棟全焼、2棟部分焼</p>
<p>昭和55年</p> <p>2月17日 所平の町道で雪崩が発生、車両1台大破</p> <p>3月8日 樽沢地内で土砂崩れ発生、作業小屋と自動車5台が大破、4月2日までに5回土砂崩れ発生</p> <p>4月7日 六箇二ツ屋地内で土砂崩壊、羽根川をふさぎ県道を超えて住宅2棟全壊</p> <p>12月 豪雪により災害救助法適用 最大積雪深 3m74cm 死者1名、負傷者1名 避難勧告13世帯 豪雪対策本部設置</p>	<p>平成2年</p> <p>12月27日 本町4丁目の複合用途防火対象物でビル火災発生、はしご車が出動し1棟部分焼</p> <p>平成4年</p> <p>12月27日 上郷地区で地震、M4.5の揺れで学校や民家に被害(当時は震度計未設置)</p> <p>平成6年</p> <p>4月8日 関根第2地内の十日町スキー場で土砂崩れ発生、市道通行不能</p>
<p>昭和56年</p> <p>1月23日 豪雪に関連した事故により3名死亡、雪崩災害危険による避難勧告、8世帯37名</p> <p>2月12日 飯山線津南駅近くで雪崩、運航中の列車が脱線、乗客17名は無事</p>	
<p>昭和57年</p> <p>4月15日 野中地内で融雪により土砂が約2500 m³移動、家屋一部破損</p>	

平成 7年

5月16日 樽沢地内で土砂崩れ発生、市道通行不能
7月11日 梅雨前線により市内全域に大雨が降り、信濃川警戒水位を 78cm 上回り、河川敷が冠水する、一部市道が通行止めになり、停電(津池、大池、赤倉地区)も起きた。

堤防の決壊 1カ所
溜池の越水 1カ所
床下浸水 11戸
土砂崩れ 3カ所
土砂崩れのため住宅 1戸一部に損害

7月17日 伊友地内大雨で曾根川の堤防が決壊、木落地内で川が増水し町道が決壊

平成 8年

2月 1日 大雪のため、県市道が一部交通止め、路線バス・鉄道も一時運転を見合わせる
塩ノ又地区が孤立集落となる、県災害救助条例適用

最大積雪深 3m30cm 負傷者 5名

平成13年

1月4日 中越地方を中心とする最大震度5弱の地震で、家屋や公共物に被害

平成16年

7月13日 平成16年7月新潟・福島豪雨
新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣人員37人(三条市ほか)

10月23日

新潟県中越地震
午後5時56分中越地方を最大震度7の激震が襲う(十日町地域管内では最大震度6強)
断続的に余震が続き、同年12月28日までの間に有感地震は877回を超えた

▼消防本部震災体制
消防計画における地震第二次配備体制自動発令、消防本部震災指揮本部の設置
本署 79人、西分署 12人、南分署 8人、松代分遣所 6人、松之山分遣所 6人の体制で、交替で休憩をとりながら24時間勤務
10月29日17時から12月17日17時まで順次勤務体制を変更して非常体制を継続し、その後通常体制に移行
▼災害発生状況(10/23~10/31)
火災件数 十日町市 2件
救助件数 十日町市 4件、松代町 1件
救急件数 267件

平成17年

10月25日 樽沢集落が、中越地震から1年ぶりに避難指示解除

平成18年

1月 6日 豪雪により災害救助法適用(十日町市、津南町)
1月12日 平成18年豪雪の各地最高積雪

平成19年

7月16日

2m77cm (消防本部)
3m13cm (十日町試験地)
3m62cm (津南町役場)
4m42cm (松之山支所)

新潟県中越沖地震
午前10時13分、上中越沖を震源とするM6.8の地震が襲う
柏崎地域を中心に甚大な被害が発生(十日町地域管内最大震度5強)

▼震災警防本部の設置
新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請
救助工作車、ポンプ車、タンク車、高規格救急車、泡放射砲積載車にて出動
10日間で16隊、延べ63人が活動にあたる
▼災害出動状況(7月16日発災当日)
消防署 19台 108人
消防団 48台 175人

平成23年

1月

豪雪により災害救助法適用(十日町市、津南町)
平成23年豪雪の各地最高積雪

1月31日 3m10cm(津南町役場)
1月 1日 2m52cm(消防本部)
2m90cm(十日町試験地)
3m69cm(松之山支所)

3月11日

東北地方太平洋沖地震
午後2時46分宮城県沖を震源とするM9.0の地震が発生、東北地方を中心に甚大な被害

新潟県緊急消防援助隊として、救急隊3人、救急支援隊2人が宮城県石巻市に出動、第8、10、13次隊にわたり、延べ17人を派遣、十日町病院DMATチーム(医師1人、看護師1人、連絡調整員1人)の搬送として、連絡1号車で隊員2人が福島医大へ出動、福島県内の入院患者を新潟県内の医療機関へ搬送するため、新潟県相互応援協定に基づき新潟県消防学校で患者を引き継ぎ、県内病院へ搬送(3/19~20)

3月12日

新潟・長野県境地震
午前3時59分、長野県北部を震源とするM6.7の地震発生。十日町市中里・松代・松之山・津南町で震度6弱を観測。同地区を中心に大きな被害を生じる

▼災害出動状況
火災1件、救助7件、調査55件

7月27日	平成 23 年新潟・福島豪雨 ▼降り始めからの累計雨量(7/27～7/30) 中心市街地(地域振興局) 493 mm 市内最大雨量(八箇峠) 565 mm ▼1時間の最大雨量 中心市街地(地域振興局) 120 mm ▼市内最大時間雨量(小泉) 121 mm (29日19時50分～20時50分) ▼出動状況(7/28～8/2) 消防本部・署の災害出動 82件 消防本部・署の出動延人員 415人 消防団の出動延人員 2,057人
平成24年	
1月	豪雪により災害救助法が適用(十日町)
2月	豪雪により災害救助法が適用(津南町) ▼平成 24 年豪雪の各地最高積雪 2月11日 2m90cm(消防本部) 3m02cm(十日町試験地) 3m29cm(津南町役場) 4m17cm(松之山支所)
5月24日	南魚沼市欠之上地内の八箇峠トンネル工事現場で爆発事故が発生、新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣人員 34人
平成25年	
1月	豪雪により災害救助法が適用(十日町市) 豪雪により災害救助法が適用(津南町) ▼平成 25 年豪雪の各地最高積雪 2月22日 2m54cm(消防本部) 3m88cm(松之山支所) 2月25日 2m89cm(十日町試験地) 2月26日 3m06cm(津南町役場)
平成27年	
9月7日	関東・東北豪雨
9月13日	新潟県緊急消防援助隊として、消防隊6人が茨城県常総市に出動
平成28年	
12月22日	糸魚川市駅北大火発生 ▼新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣:消火隊1隊(人員13人)
平成30年	
2月14日	豪雪により災害救助法が適用(十日町市) ▼平成 30 年豪雪の各地最高積雪 2月19日 1m97cm(消防本部) 2m39cm(十日町試験地) 2m89cm(松之山支所)
令和元年	
10月13日	台風第19号(令和元年東日本台風) 新潟県緊急消防援助隊として、消防隊5人が長野市に出動
令和3年	
5月6日	天水越(信越トレイル)で女性が滑落

	▼5月6日 捜索活動を開始、要救助者らしき人物は発見されるも救助活動が難航 日没を迎えたため、6日の活動は終了 ▼5月7日 特命隊で救助活動を再開したが、6日と同様に救助活動が難航 現場の状況を鑑み、現場指揮本部、航空隊と協議の結果、救助活動を断念
令和4年	
1月10日	豪雪により災害救助法適用(十日町市) ▼人的被害 死者1人、重症10人、軽症29人 ▼令和4年豪雪の各地最高積雪 1月10日 2m70cm(消防本部) 2m87cm(十日町試験地) 2月19日 3m70cm(松之山支所)
令和5年	
2月23日	豪雪により災害救助法適用(十日町市) 豪雪により災害救助法適用(津南町) ▼人的被害 死者3人、重症9人、軽症14人 ▼令和5年豪雪の各地最高積雪 2月23日 1m77cm(十日町試験地) 2月24日 2m76cm(松之山支所)
令和6年	
1月1日	能登半島地震 午後4時10分石川県能登半島を震源とするM7.6の地震発生、日本海側を中心に甚大な被害 新潟県緊急消防援助隊として、石川県輪島市を中心に出動、第1、2、3、4次隊にわたり、延べ16人を派遣、県内の他消防本部と協力し、土砂崩れが発生した現場での捜索活動を実施(1/1～1/15)

■歴代管理者・消防長

十日町地域広域事務組合管理者

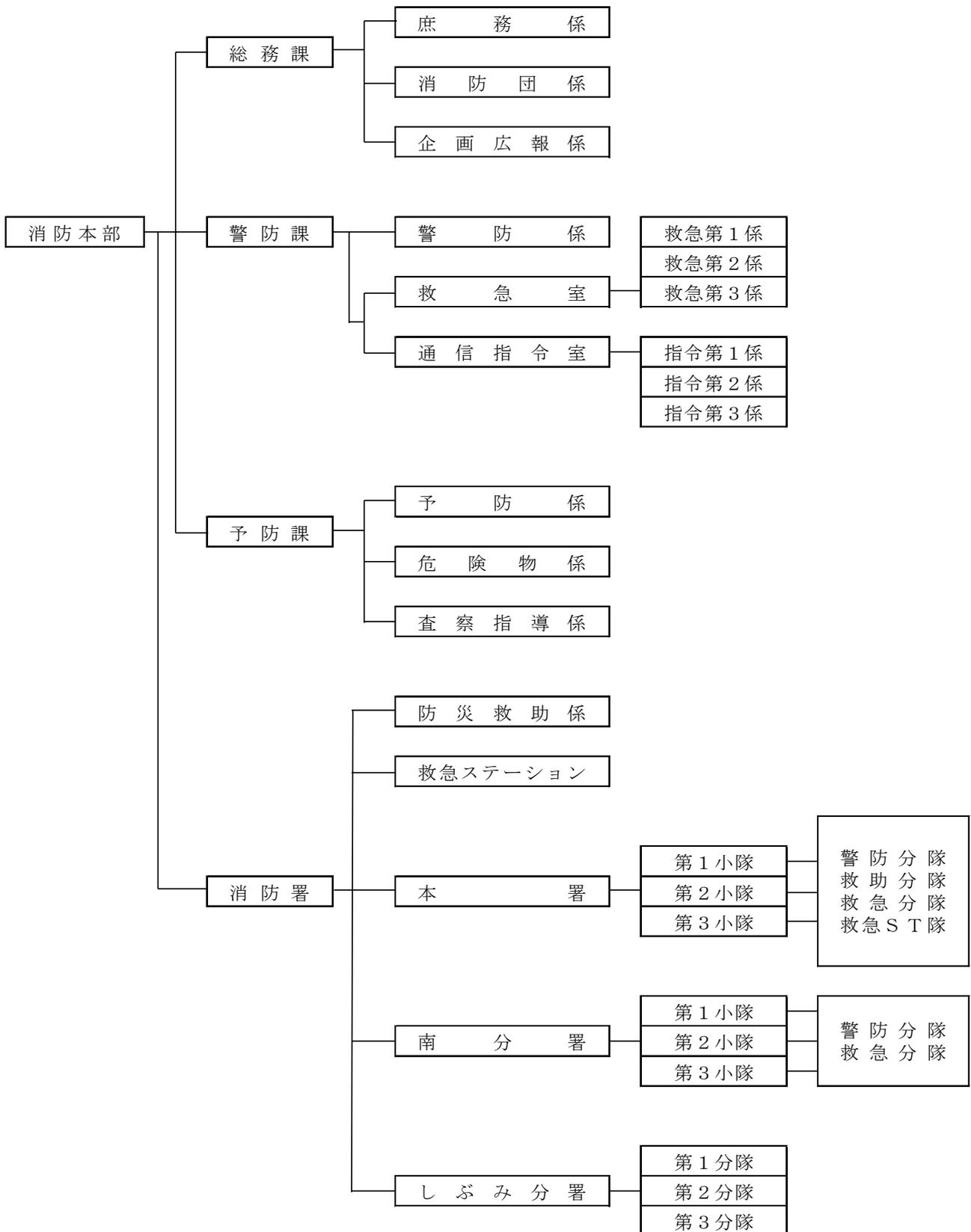
歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	春日由三	昭和48. 4. 1	昭和54. 5. 8	十日町市長
二代	諸里正典	昭和54. 5. 9	昭和60. 11. 30	〃
三代	丸山尚政	昭和60. 12. 15	平成 5. 12. 14	〃
四代	本田欣二郎	平成 5. 12. 15	平成13. 12. 14	〃
五代	滝沢信一	平成13. 12. 15	平成17. 3. 31	平成17年4月1日～30日 職務執行代理者津南町長 小林 三喜男
六代	田口直人	平成17. 5. 1	平成21. 4. 30	十日町市長
七代	関口芳史	平成21. 5. 1		〃

十日町地域広域事務組合消防長

歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	菅村新蔵	昭和48. 4. 1	昭和48. 7. 5	昭和38年4月1日～昭和48年3月31日 十日町市消防長
二代	春日由三	昭和48. 7. 6	昭和53. 3. 31	組合管理者
三代	上村安輝	昭和53. 4. 1	昭和55. 3. 31	
四代	開発一郎	昭和55. 4. 1	昭和57. 3. 31	
五代	牧野健	昭和57. 4. 1	平成 2. 3. 31	
六代	田村猛	平成 2. 4. 1	平成 6. 3. 31	
七代	村山信一	平成 6. 4. 1	平成 8. 3. 31	
八代	村山悦司	平成 8. 4. 1	平成10. 3. 31	
九代	矢口辰幸	平成10. 4. 1	平成12. 3. 31	
十代	小林勝美	平成12. 4. 1	平成17. 3. 31	
十一代	藤巻誠	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31	
十二代	江村久	平成19. 4. 1	平成21. 3. 31	
十三代	山田真一	平成21. 4. 1	平成24. 3. 31	
十四代	山田秀和	平成24. 4. 1	平成25. 3. 31	
十五代	齊藤勝	平成25. 4. 1	平成27. 3. 31	
十六代	田村信二	平成27. 4. 1	平成29. 3. 31	
十七代	根津正一	平成29. 4. 1	令和 2. 3. 31	
十八代	樋口哲生	令和 2. 4. 1	令和 4. 3. 31	
十九代	服部勝志	令和 4. 4. 1		

■十日町地域消防本部の機構図

令和6年4月1日



■消防本部・消防署・分署配置図

令和6年4月1日



しづみ分署

- ◆消防ポンプ自動車 1台
- ◆高規格救急車 1台
- ◆査察広報車 1台
- ◆小型動力ポンプ 1台



救急ステーション

- ◆高規格救急車 1台



消防本部・署

- ◆消防ポンプ自動車 2台
- ◆化学消防ポンプ自動車 1台
- ◆屈折はしご付消防ポンプ自動車 1台
- ◆非常用消防ポンプ自動車 1台
- ◆救助工作車 1台
- ◆高規格救急車 2台
- ◆指揮車 1台
- ◆資機材搬送車 3台
- ◆査察広報車 1台
- ◆人員搬送車 2台
- ◆赤パ 2台
- ◆小型動力ポンプ 2台
- ◆非常用救急車 1台



南分署

- ◆消防ポンプ自動車 1台
- ◆水槽付消防ポンプ自動車 1台
- ◆高規格救急車 2台
- ◆査察広報車 2台
- ◆小型動力ポンプ 2台



総務編

総務編

1. 消防庁舎等の現況

令和6年4月1日

名称	区分	所在地	構造	建築年月日	経過年	面積 (m ²)		
						敷地	建築	延
消防本部・署	〒948-0007 十日町市四日町新田1041番地		庁舎棟 鉄筋コンクリート造4階建 車庫棟 鉄骨造2階建 エネルギー棟 鉄骨造平屋建	平成27年10月31日	8	11,134.00	1,900.41	4,028.07
			訓練棟 (主 棟) 鉄筋コンクリート造4階建 (副 棟) 鉄骨造3階建 (管理棟) 鉄骨造平屋建	平成28年12月31日	7		306.49	697.54
			十日町地域消防ヘリポート	令和2年11月30日	3			
南分署	〒949-8201 津南町大字下船渡乙1097番地1		鉄骨造4階建	平成9年3月24日	27	2,510.14	425.37	1,174.68
しづみ分署	〒942-1402 十日町市松之山小谷969番地5		鉄骨造4階建	平成23年3月24日	13	5,157.41	339.80	1,034.74
救急ステーション	〒948-0065 十日町市高田町3丁目南32番地9 (新潟県立十日町病院内)		プレキャストプレストレスト コンクリート造	平成28年3月9日	8			90.86
城山無線局舎	十日町市堀之内字城山戊2163番地13		鉄筋コンクリート造	平成26年11月14日	9	8,156.28	39.97	103.90

2. 消防費予算状況

(単位:千円)

科目	年度区分	令和5年度		令和6年度			
		当初予算額	決算額	当初予算額	前年度比較	消防費に対する割合	組合一般会計予算に対する割合
常備消防費	消防本部署費	1,026,955	1,030,951	1,056,950	29,995	76.3%	
	南分署費	10,574	10,047	66,508	55,934	4.8%	
	しづみ分署費	6,814	10,339	7,226	412	0.5%	
	救急ステーション費	4,140	4,038	4,270	130	0.3%	
	小 計	1,048,483	1,055,375	1,134,954	86,471	81.9%	
非常備消防費	十日町方面隊費	99,555	96,836	97,539	△ 2,016	7.0%	
	川西方面隊費	15,872	14,779	15,834	△ 38	1.2%	
	中里方面隊費	16,731	15,247	18,123	1,392	1.3%	
	松代方面隊費	8,655	7,634	8,267	△ 388	0.6%	
	松之山方面隊費	8,923	8,108	8,392	△ 531	0.6%	
	津南消防団費	44,971	43,142	42,658	△ 2,313	3.1%	
	小 計	194,707	185,746	190,813	△ 3,894	13.8%	
消防施設費	常備消防施設費	154,449	153,299	26,612	△ 127,837	1.9%	
	十日町消防施設費	16,589	15,345	24,348	7,759	1.8%	
	川西消防施設費	1,336	1,496	552	△ 784	0.0%	
	中里消防施設費	802	751	1,234	432	0.1%	
	松代消防施設費	321	149	1,779	1,458	0.1%	
	松之山消防施設費	688	481	4,123	3,435	0.3%	
	津南消防施設費	1,006	992	1,822	816	0.1%	
	小 計	175,191	172,513	60,470	△ 114,721	4.3%	
消防費合計	1,418,381	1,413,634	1,386,237	△ 32,144	100.0%	76.5%	

組合一般会計予算額 1,813,200 千円

3. 過去5年間の消防費決算状況

区分 年度	消防費 決算額 (千円)	内 訳			組合一般会計 決算額 (千円)	組合一般 会計決算 額に対する 消防費の 割合 (%)	人口1人 当たり 消防費 (円)	1世帯あたり 消防費 (円)
		常備 消防費 (千円)	非常備 消防費 (千円)	消 防 施設費 (千円)				
R01	1,428,375	1,041,761	210,526	176,088	1,912,157	74.7%	22,984	61,401
R02	1,496,870	1,027,618	197,855	271,397	2,140,078	69.9%	24,572	64,749
R03	1,266,368	1,036,095	177,597	52,676	1,732,947	73.1%	21,137	54,613
R04	1,302,197	1,023,093	159,604	119,500	1,706,248	76.3%	22,171	56,411
R05	1,413,634	1,055,375	185,746	172,513	1,800,928	78.5%	24,561	61,564

4. 人口、世帯に対する消防吏員、団員、ポンプ車の割合

令和6年4月1日

区 分	実 数	消防吏員 (1人当たり)	消防団員 (1人当たり)	消防自動車等 (1台当たり)
面積(K㎡)	760.6	6.67	0.34	7.46
世帯数(世帯)	23,084	202.49	10.38	226.31
人口(人)	58,735	515.22	26.42	575.83
備 考 (数値は管内(十日町市・津南町)の合計)		消防吏員 114人	消防団員 2,223人	管理車両のうち緊急自動車 の要件を満たす台 数【102台】 (署: 27台) (団: 75台)

5. 基準消防力と現有消防力の比較(常備分)

令和6年4月1日

種別		基 準	現 有	比 較	充足率(%)
署 々 数	市 街 地	1	1	0	100.0%
	準 市 街 地	1	1	0	100.0%
	その他の地域	1	1	0	100.0%
	計	3	3	0	100.0%
消 防 職 員 数	消 防 隊 員	84	40	-44	47.6%
	救 急 隊 員	29	24	-5	82.8%
	救 助 隊 員	16	15	-1	93.8%
	指 揮 隊 員	9	6	-3	66.7%
	予 防 要 員	18	5	-13	27.8%
	通 信 員	6	6	0	100.0%
	その他職員	14	18	4	128.6%
	計	176	114	-62	64.8%
消 防 署 管 理 の 消 防 自 動 車 等	消防ポンプ自動車 水槽付消防車含	5	4	-1	80.0%
	はしご車	1	1	0	100.0%
	化学消防車	1	1	0	100.0%
	救助工作車	1	1	0	100.0%
	救 急 車	6	6	0	100.0%
	指 揮 車	1	1	0	100.0%
	非常用消防車	1	1	0	100.0%
	非常用救急車	1	1	0	100.0%
	計	17	16	(1)	94.1%
	特 殊 車 等	-	11	-	-

※「基準」並びに「現有」の一部は、令和4年度消防施設整備計画実態調査報告における値である。

6. 消防職員の階級別配置状況

令和6年4月1日(単位:人)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	合計
消防長	1							1
総務課		1	3	7	3	6	4	24
警防課		1	4	8	8	3	1	25
予防課		1	2	6	6	3	1	19
消防署		1	1	3	2	1		8
南分署			3	5	6	5	4	23
しぶみ分署			3	3	5	2	1	14
合計	1	4	16	32	30	20	11	114

※再任用職員を含む。

7. 消防職員の階級別勤続状況

令和6年4月1日(単位:人)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	合計
5年未満		1					10	11
5年以上～10年未満						14	1	15
10年以上～15年未満					6	6		12
15年以上～20年未満					22			22
20年以上～25年未満				15	2			17
25年以上～30年未満			2	14				16
30年以上	1	3	14	3				21
合計	1	4	16	32	30	20	11	114
平均(年)	43.0	26.0	33.3	25.4	16.2	7.7	2.8	19.0

※再任用職員を含む。

※1年未満は切り上げ。

8. 消防職員の階級別年齢調

令和6年4月1日(単位:人)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	合計
18歳～20歳							1	1
21歳～25歳						2	8	10
26歳～30歳						14	2	16
31歳～35歳					7	4		11
36歳～40歳					18			18
41歳～45歳				13	5			18
46歳～50歳			2	15				17
51歳～55歳		2	11	4				17
56歳以上	1	2	3					6
合計	1	4	16	32	30	20	11	114
平均(歳)	61.0	54.5	53.2	46.8	37.9	28.4	22.7	40.2

※再任用職員を含む。

9. 消防職員の消防学校等教育受講状況

令和6年3月31日(単位:人)

科	年度	R	R	R	R	R	計
		01	02	03	04	05	
消防学校	初任科	5	5	3	2	1	16
	警防科	1			1		2
	予防査察科			1	1		2
	危険物科	1	1		1	1	4
	火災調査科		1	1		1	3
	救急科	4	3	5	1	1	14
	特殊災害科			1		1	2
	気管挿管薬剤投与講習						
	救助科	2	2	2	1	1	8
	高度救助コース	1	1	1	1	1	5
幹部科(中級・初級)	1		1	1	1	4	
操法審査員研修	2			2	2	6	

科	年度	R	R	R	R	R	計
		01	02	03	04	05	
消防大学校	幹部科		1	1			2
	警防科						0
	救助科			1			1
	危険物科						0
	救急科		1				1
	新任教官科			1			1
	予防科					1	1
	予防科					1	1
救急救命研修所	新規救命士(東京)	1			1	1	3
	指導救命士(九州)	1			1	1	3
総合事務組合ほか	階層別研修(課長/補佐/係長/主任級)	2	3	3	6	6	20
	給与事務研修						0
	その他研修	2	1	2	3		8

10. 消防職員採用等の状況

令和6年4月1日(単位:人)

項目	採用者数	再任用数
R06	2	1
R05	1	1
R04	2	0
R03	4	1
R02	6	2

11. 消防職員退職状況

令和6年3月31日(単位:人)

項目	退職者数	退職事由	
		定年等	その他
R05	2	0	2
R04	3	1	2
R03	3	2	1
R02	4	3	1
R01	9	4	5

12. 給与及び勤務の状況

<勤務職員の内訳> 令和6年4月1日(単位:人)

毎日勤務	交替制勤務	その他派遣等	合計	条例定数
23	91		114	116

<給料> 令和6年4月1日(単位:円)

初任給			平均給料
高卒	短大卒	大卒	
188,100	202,100	219,800	328,699

<特殊勤務手当等>

令和6年4月1日(単位:円)

火災出場	救急出動	救命士特定行為	夜間消防手当			緊急車運転手当		休日勤務手当		防疫等作業	
			2時間未満	2時間以上	夜間全て	消防作業	救急業務	割増率	当番11.5時間	長時間	短時間
300	200	500	220	270	400	100	60	135/100	非番4時間	4,000	3,000

<消防吏員の時間外勤務時間数及び有給休暇取得日数状況>

時間外勤務時間数(令和5年度中)		平均時間	有給休暇取得日数(令和5年中)		平均日数
支給対象職員(管理職を除く)	102人	6,609時間	64.8時間	毎日勤務者	21人 308日 14.7日
				交替制勤務者	92人 1,117日 12.1日
				合計	113人 1,425日 12.6日

<消防吏員の勤務体制及び勤務時間>

令和6年4月1日

適用給料表	交替制勤務サイクル	勤務時間(週)		
		毎日勤務	三部制勤務	(1当務)
消防職	三部制	38時間45分	38時間45分	(15時間30分)

R5.1.1~R5.12.31で集計



警防編

暴行記

1. 消防機関の出動状況

(単位:件、人)

区分	種別	火災		救急	救助	風水害等の災害	演習・訓練	広報指導	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他	
		うち林野火災														
本署	出回	動数	26	4	1,242	37	3	399	56	136	25	30	5	401	5	242
	出延	動員人数	343	58	3,786	338	11	3,470	104	387	109	78	44	772	23	837
救急S T	出回	動数	10	1	1,299	20						1			1	
	出延	動員人数	30	3	3,944	60						3			3	
南分署	出回	動数	12	3	849	14	1	274	20	81	7	42	1	166	2	62
	出延	動員人数	63	16	2,610	85	4	1,628	24	287	40	143	15	385	11	228
しぶみ分署	出回	動数	7		288	7	2	203	6	88	9	27	1	70	2	21
	出延	動員人数	59		900	27	8	808	8	245	46	75	5	169	8	60
合計	出回	動数	55	8	3,678	78	6	876	82	305	41	99	8	637	10	325
	出延	動員人数	495	77	11,240	510	23	5,906	136	919	195	296	67	1,326	45	1,125

注)「広報指導」には、住宅防火や救急講習が含まれます。

注)合計出動回数は災害発生件数とは異なります。

2. 市町別救助出動状況

(単位:件)

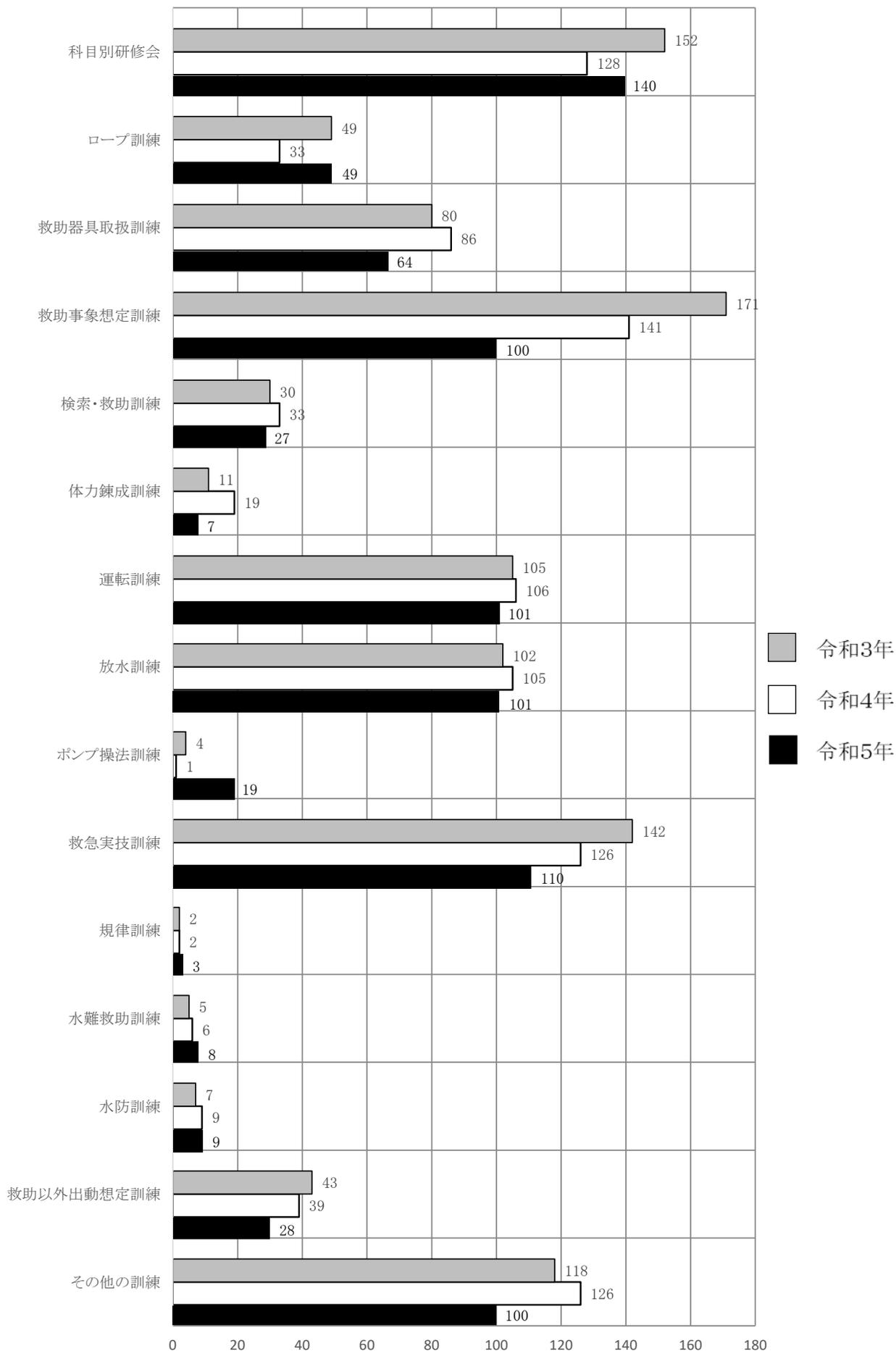
区分	事故の種類	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス・酸欠事故	その他(搜索含む)	計
		建物	建物以外								
十日町市											
	(十日町地域)		1	7	2		1	1		9	21
	(川西地域)			2						2	4
	(中里地域)			2						2	4
	(松代地域)			3						1	4
	(松之山地域)									1	1
津南町				5						3	8
管外											
合計			1	19	2		1	1		18	42

3. 消防職員一般教育、訓練実施状況

区分	訓練内容	科目別研修会	ロープ訓練	救助器具取扱訓練	救助事象想定訓練	検索・救助訓練	体力錬成訓練	運転訓練	放水訓練	ポンプ操法訓練	救急実技訓練	規律訓練	水難救助訓練	水防訓練	救助以外出動想定訓練	その他の訓練	合計
		回数	時間	延人員	回数	時間	延人員	回数	時間	延人員	回数	時間	延人員	回数	時間	延人員	回数
本署	回数	29	19	41	66	11	2	33	55	6	36	3	7	4	16	65	393
	時間	48.5	34.0	67.5	108.0	19.0	3.0	62.5	90.0	8.0	60.5	3.5	29.0	8.0	33.5	121.0	696.0
	延人員	348	111	273	569	75	11	174	389	62	387	21	75	47	195	593	3,330
南分署	回数	67	17	19	21	1	1	41	27	7	39		1	3	3	26	273
	時間	100.0	25.0	27.0	36.5	1.5	1.0	60.5	41.5	11.0	52.0		1.0	4.5	4	43.0	408.5
	延人員	442	81	102	140	7	4	200	158	47	231		7	21	21	160	1,621
しづみ分署	回数	44	13	4	13	15	4	27	19	6	35			2	9	9	200
	時間	78.0	18.5	6.5	31.5	34.0	4.0	53.5	30.5	12.0	51.5			4.0	15.5	17.0	356.5
	延人員	182	48	14	52	64	16	109	76	24	132			8	37	36	798
合計	回数	140	49	64	100	27	7	101	101	19	110	3	8	9	28	100	866
	時間	226.5	77.5	101.0	176.0	54.5	8.0	176.5	162.0	31.0	164.0	3.5	30.0	16.5	53.0	181.0	1,461.0
	延人員	972	240	389	761	146	31	483	623	133	750	21	82	76	253	789	5,749

訓練実施回数

(単位:回)



4. 消防本部・署・分署車両等配置状況

令和6年4月1日

車両区分	製造会社	型式	年式	購入	経過年数	総排気量 (cc)	ポンプ		ポンプ 級別	
				年月			製作所	種別		
消防本部	屈折はしご付 消防ポンプ自動車	日野	2DG-FHIAGA	29	H29.12	6	8,860	モリタ(株)	屈折はしご25m級 消防ポンプ自動車	A-2
	化学消防 ポンプ自動車	日野	SDG-GX7JGAA改	28	H28.1	8	6,400	モリタ(株) オイル循環式	緊急消防 援助隊仕様	A-2
	救助工作車	〃	SDG-GX7JGAA改	24	H24.12	11	6,400	テイセン	救助工作車II型 レンジャー	
	消防ポンプ 自動車1	〃	PD-XZU378M	18	H19.1	17	4,000	日本機械㈱ 完全無給油式	緊急消防 援助隊仕様	A-2
	消防ポンプ 自動車2	〃	BDG-GX7JGWA改	21	H21.1	15	6,400	モリタ(株) オイル循環式	緊急消防 援助隊仕様	A-2
	非常用消防 ポンプ自動車(十P3)	ニッサン	KC-AKS71GR	10	H10.1	26	4,570	モリタ(株)	CD-1型 アトラス	A-2
	高規格 救急自動車1	トヨタ	CBF-TRH226S	29	H29.10	6	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース 緊急消防援助隊仕様	
	高規格 救急自動車3	〃	CBF-TRH226S	30	H31.3	5	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース 緊急消防援助隊仕様	
	非常用 救急自動車5	〃	CBF-TRH226S	22	H22.10	13	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース	
	資機材搬送車1 (トラック1)	日野	BDG-XZU378M	21	H21.12	14	4,000		デュトロ	
	資機材搬送車2	ニッサン	KC-SP8F23	8	H8.10	27	2,660		アトラス	
	資機材搬送車3 (連絡2)	いすゞ	BKG-NHS85A	22	H22.8	13	2,990		防災活動車	
	指揮車	トヨタ	QDF-GDH206K	R1	R1.11	4	2,750		ハイエース	
	査察広報車	〃	DBA-ZRR85G	29	H29.2	7	1,980		エスクァイア	
	人員搬送車1 (連絡1)	〃	CBF-TRH228B	23	H23.10	12	2,690		ハイエース	
	人員搬送車2 (連絡3)	ダイハツ	GBD-S330V	20	H20.3	16	650		ハイゼット	
	赤バイ1号	ヤマハセロー	XT225WA223cc	11	H11.6	24	223		セロー	
	赤バイ2号	〃	〃	11	H11.6	24	〃		セロー	
	小型動力ポンプ	シバウラ	SF651SZ	18	H18.9	17	150	石川島芝浦機械㈱	ポンプ2号積載	B-3
	〃	シバウラ	TF516SH	13	H13.10	22	150	石川島芝浦機械㈱	トラック1号積載	C-1
ST	高規格 救急自動車2	ニッサン	CBF-CS8E26改	R4	R4.2	2	2,480	新潟日産モーター(株)	日産パラメディック	
南分署	消防ポンプ 自動車(南P1)	ミツビシ	KK-FG53ED	12	H12.1	24	5,240	モリタ(株)	CD-1型 キャンター	A-2
	高規格 救急自動車(南救急1)	トヨタ	CBF-TRH226S	28	H28.10	7	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース 緊急消防援助隊仕様	
	高規格 救急自動車4	トヨタ	CBF-TRH226S	21	H21.11	14	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース 緊急消防援助隊仕様	
	査察広報車1	ニッサン	GF-WHNY11	13	H13.8	22	1,760		ウイングロード	
	査察広報車2	トヨタ	S-PZJ77V改	5	H5.8	30	3,460		ランドクルーザー	
	小型動力ポンプ	シバウラ	TF516SH	18	H18.9	17	150	石川島芝浦機械㈱	1段高压タービン	〃
〃	〃	TF516SH	18	H18.9	17	150	石川島芝浦機械㈱	1段高压タービン	〃	
しぶみ分署	消防ポンプ 自動車(しぶみP1)	日野	KK-XZU371M改	13	H13.7	22	4,890	GMいちはら	CD-1型 デュトロ	A-2
	高規格 救急自動車(しぶみ救急1)	トヨタ	3BF-TRH226S	R2	R2.11	3	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース 緊急消防援助隊仕様	
	査察広報車	ダイハツ	3BD-S710V	R6	R6.3	1	650	ハイゼットカーゴ		
	小型動力ポンプ	シバウラ	TF516SH	13	H13.7	22	150	石川島芝浦機械	完全無給油式 ポンプ1号積載	C-1

5. 消防ポンプ車等現有状況

令和6年4月1日

種別 消防ポンプ車等 所属	消防ポンプ車	化学ポンプ自動車	救急自動車	消防ポンプ自動車	水タンク付自動車	小型動力ポンプ	救急車		非常用自動車	非常用救急車	指揮車	査察広報車	人員搬送車	資機材搬送車	赤バイ	計
							救急規格	救急車								
消防本部・署	1	1	1	1	1	2	2		1	1	1	1	2	3	2	20
S T							1									1
南分署				1		2	2					2				7
しづみ分署				1		1	1					1				4
本部・署所計	1	1	1	3	1	5	6	0	1	1	1	4	2	3	2	32

6. 緊急消防援助隊登録状況

令和6年4月1日

登録小隊名	登録車両	登録車両配置場所	登録年月
1. 消火小隊	十日町ポンプ1	しづみ分署	平成19年4月
2. 消火小隊	十日町ポンプ2	南分署	平成21年4月
3. 消火小隊	十日町化学1	本署	平成29年4月
4. 救急小隊	南救急1	南分署	平成29年4月
5. 救急小隊	十日町救急1	本署	平成30年4月

7. 消防・救急応援協定締結状況

令和6年4月1日

協定の名称	業務内容	協定年月日
新潟県広域消防相互応援協定(全県)	火災及びその他の災害	平成13年4月1日
中部消防応援協定 (長岡市、三条市、柏崎市、魚沼市、見附市、南魚沼市、燕・弥彦総合事務組合、小千谷市、加茂市・田上町消防衛生保育組合)	火災及びその他の災害	平成29年1月1日
消防・救急業務相互応援協定(岳北広域行政組合)	火災及びその他の災害	平成10年4月1日
	救急	
消防相互応援協定(長野県下水内郡栄村)	火災及びその他の災害	
消防相互応援協定(上越地域消防事務組合)	火災及びその他の災害	平成19年8月1日

8. 特殊機械器具現有状況

令和6年4月1日

区分	品名	現有器材内訳	本署 (ST含む)	南分署	しづみ分署	合計
救 助 器 具	三連はしご		6	3	1	10
	かぎ付はしご		4	3	1	8
	空気式救助マット	ソフトランディング	1			1
	油圧式救助器具	ポートパワー、ユニツール	1	1	1	3
	救助用簡易起重機	アリゾナボーテックス	1			1
	大型油圧式救助器具	スプレッター、カッター、エンジン	各1			各1
	充電式油圧救助器具	スプレッター、カッター、パーカッター	各1	各1		各2
	マット型空気ジャッキ	マイティバッグ1式、リフトバッグ	1	1		2
	救命索発射銃	MS-30、ミロクM-300	2			2
	簡易縛帯	R-430型、R-427型	2	1	1	4
	サバイバースリング	AZ-1031-1ピタゴール	1	1	1	3
	平担架		2	1		3
	バスケット担架		3	1	2	6
	スケッドストレッチャー	SK-200-OR	1	1	1	3
可搬式ウインチ	チルホール	2	1	1	4	
破 壊 器 具	エンジンカッター	K-750、TS410	3	1	1	5
	アセチレンガス切断器		1	1	1	3
	ガス溶断器	バーニングカッター	1		1	2
	空気鋸	タイガーエアソー	1	1	1	3
	空気切断機	アジャックスM711	1			1
	チェーンソー		4	2	1	7
	レスプロソー		2	1		3
	ハンマードリル	日立DH-42	1			1
	削岩機	ピオニア121A型	1			1
保 安 器 具	空気呼吸器	デマンド式(カワサキK2)	11			11
		プレッシャーデマンド式(ライフゼム)	9			9
		プレッシャーデマンド式(ドレーゲル)	17	11	4	32
	空気呼吸器用軽量ボンベ	300kg/cm ³ 2.4ℓ _ト				0
		〃 4.7ℓ _ト	35	15	8	58
		〃 6ℓ _ト	7			7
		〃 9ℓ _ト	6			6
		150kg/cm ³ 4ℓ _ト (鉄製)				0
		〃 6ℓ _ト (鉄製)				0
		〃 8ℓ _ト (鉄製含む)	5			5
	酸素呼吸器	圧縮酸素型循環式、OXYGEM-11	4			4
	送風機	TS式、ラムファンGH165	3		1	4
	耐熱服		6			6
	耐電衣	使用電圧7000V以下	6			6
	耐電手袋	〃	6			6
耐電長靴	〃	6			6	
耐電ヘルメット	〃	6			6	
耐電ズボン	〃	6			6	
化学防護服	気密形 ドレーゲル社製	3			3	
測 定 器 具	酸欠空気危険性ガス測定器	イグザム2000、GX2000 四ルティア4、アルティア4X	4	1	1	6
	熱画像直視装置	アルゴス	2			2

救急活動用資器材	人工呼吸器	ハラパック、アンサー、メデューマット	4	2	1	7	
	電動吸引器	レールダル	3	2	1	6	
	喉頭鏡	マッキントッシュ型	6	3	1	10	
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	エアウェイスコープ	2	2	1	5	
	携帯型血中酸素飽和度測定器	小型パルスオキシメーター		3	2	1	6
		マシモ Rad57 (SpCO測定兼用)		1	1	1	3
	電子聴診器		3	1	1	5	
	AED	自動体外式除細動器	2	0	1	3	
	モニター(兼)除細動器	PHILIPS:DFM100 旭化成:ZOLL Xシリーズ	3	2	1	6	
	車載固定モニター	日本光電	0	1	0	1	
	自動式心マッサージ器	コムスタット、クローバー、ルーカス	4	2	1	7	
	スクープストレッチャー		6	2	3	11	
	バックボード		8	2	4	14	
	ソフト担架	ターボリン・メッシュ	12	2	3	17	
	陰圧ギブス	部位別サイズ式	3	2	1	6	
	高圧蒸気滅菌器	ユヤマ式オートクレーブ	1	0	0	1	
	オゾンガス発生器	携帯型	2	1	1	4	
	携帯電話		3	2	1	6	
	防刃ベスト		12	3	3	18	
救急訓練用資器材	高度処置訓練用人形	高研 セーブマン	1	1	0	2	
		レールダル シムマン	0	0	1	1	
		ACLS訓練用人形(シムマンALS)	2	1	0	3	
	蘇生訓練用人形	成人型(レサシアン・ジャマイIV)	2	2	0	4	
		小児型(リトルジュニア)	26	1	1	28	
		乳児型(ベビーアン・ジャマイベビー)	7	1	1	9	
		上半身簡易型(アクター911)	20	10	10	40	
		成人半身型(リトルアン)	38	12	11	61	
	AEDトレーナー	レールダル・メドトロニック・日本光電	42	10	10	62	
	モニター(兼)除細動器	PHILIPS:MRx	1	0	0	1	
	気道管理訓練用人形		2	0	0	2	
外傷訓練用人形	SIMULAIDS	1	0	0	1		
腕模型	静脈路確保訓練用	2	0	1	3		
その他	救命ボート	ゴム製6人乗り	1			1	
	簡易画像探索機	ボーカメ NT-740S	1			1	
	エアータント	芦森製 SAT-663G	1			1	
	ピックアップノズル	200型 400型	3	3	2	8	
	ラインプロポーションナー		1	1	2	4	
	小型高圧送水装置ウィック	メルセデステキスタイル社	1			1	

9. 消防水利市町別設置状況

令和6年4月1日

種別	防火水槽					消火栓			合計	その他の水利
	100m ³ 以上	60～100m ³	40～60m ³	20～40m ³ 未満	小計	上水道放出口65mm	簡易水道(初期消火用除く)放出口65mm以上	小計		池
市町										
十日町市	20	36	759	74	889	506	895	1,401	2,290	
(十日町地域)	1	10	366	27	404	345	360	705	1,109	
(川西地域)	1	1	133	22	157	161	11	172	329	
(中里地域)			121	10	131		125	125	256	
(松代地域)	18	18	58	7	101		230	230	331	
(松之山地域)		7	81	8	96		169	169	265	
津南町	1	1	184	13	199		56	56	255	3
合計	21	37	943	87	1,088	506	951	1,457	2,545	3

10. 公設消火栓管径別設置状況

令和6年4月1日

種別	消防水利の基準に適合			消防水利の基準に不適合			合計
	150mm以上	75mm以上150mm未満	小計	75mm以上150mm未満	75mm未満	小計	
市町							
十日町市	255	282	537	833	22	855	1,392
(十日町地域)	167	191	358	328	11	339	697
(川西地域)	15	26	41	130		130	171
(中里地域)	4	20	24	101		101	125
(松代地域)	39	39	78	152		152	230
(松之山地域)	30	6	36	122	11	133	169
津南町	20	5	25	31		31	56
合計	275	287	562	864	22	886	1,448

11. 火の見やぐら、消防器具置場設置状況

令和6年4月1日

種別	火の見やぐら				消防器具置場
	鉄製	コンクリート製	ホース乾燥柱他	計	
市町					
十日町市	22	33	57	112	145 (17)
(十日町地域)	12	22	17	51	71 (3)
(川西地域)	6	5	14	25	21 (2)
(中里地域)	4	2	15	21	24 (1)
(松代地域)		3	8	11	16 (5)
(松之山地域)		1	3	4	13 (6)
津南町	4	7	19	30	55 (7)
合計	26	40	76	142	200 (24)

※1 ()内は、公民館等に併設されている消防器具置場になります。

※2 ホース乾燥柱他内に、木製の火の見やぐらが1箇所含まれます。(津南町)

12. 令和5年度主な施設等整備状況

区分	事業名	数	摘要
十日町	耐震性貯水槽新設工事	1	上川町
	火の見櫓解体撤去工事	2	小泉第2、津池
	消防水利雪囲設置工事	3	千歳町、中在家、北原
	消防施設解体撤去工事	1	宇田ヶ沢
川西	消防施設解体撤去工事	1	岩瀬
中里	消防器具置場解体撤去工事	1	高道山
	消防水利雪囲設置工事	1	倉下
松代	消防水利雪囲設置工事	1	太平
松之山	防火水槽改修工事	1	兔口
	消防水利雪囲設置工事	1	光間
津南町	火の見櫓解体撤去工事	1	上野

00 預防編

預防編

1. 火災総括表

令和5年中管内の火災件数は、前年より11件増加し、29件であった。損害額は減っているが、火災による死者数は前年から1名増となった。

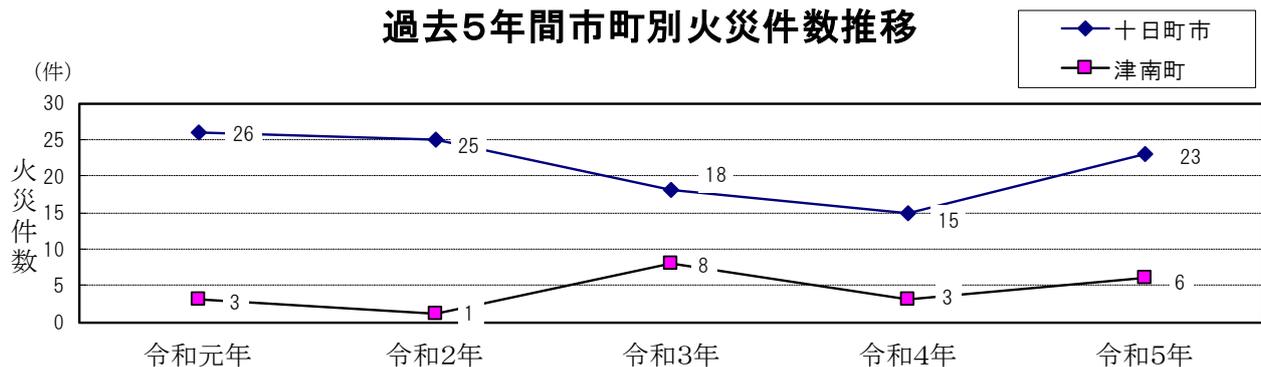
区分別	年別・増減比	令和4年中	令和5年中	増減	前年比
火災総件数(件)		18	29	11	161%
建物火災		10	15	5	150%
林野火災		1	5	4	500%
車両火災		4	2	-2	50%
その他の火災		3	7	4	233%
焼損棟数(棟)		20	26	6	130%
全焼		6	7	1	117%
半焼		0	0	0	0%
部分焼		2	6	4	300%
ぼや		12	13	1	108%
罹災世帯数(世帯)		12	21	9	175%
罹災者数(人)		47	48	1	102%
死傷者数(人)	死者	1	2	1	0%
	負傷者	8	3	-5	38%
建物焼損床面積(m ²)		839.95	1252.00	412	149%
建物焼損表面積(m ²)		3.193	65.14	61.947	2040%
林野焼損面積(a)		10.46	18.5395	8.0795	177%
焼損車両台数(台)		4	2	-2	50%
損害額(千円)		40,953	25,329	-15,624	62%

2. 市町別火災発生状況

十日町市では過去5年間で火災件数が平均21.4件となった。津南町では過去5年間で火災件数が平均4.2件となった。令和5年は十日町市・津南町ともに過去5年間の平均を上回る件数となった。

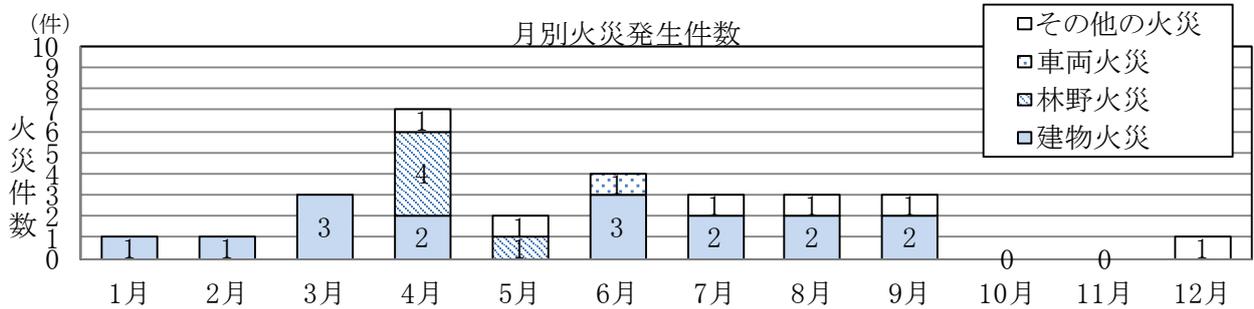
市町(地域)別	年別					過去5年間平均
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
十日町市	26	25	18	15	23	21.4
十日町地域	17	8	13	10	15	12.6
川西地域	3	8	2	1	5	3.8
中里地域	1	4	1	1	1	1.6
松代地域	4	3	2	2	2	2.6
松之山地域	1	2	0	1		0.8
津南町	3	1	8	3	6	4.2
計	29	26	26	18	29	25.6

過去5年間市町別火災件数推移

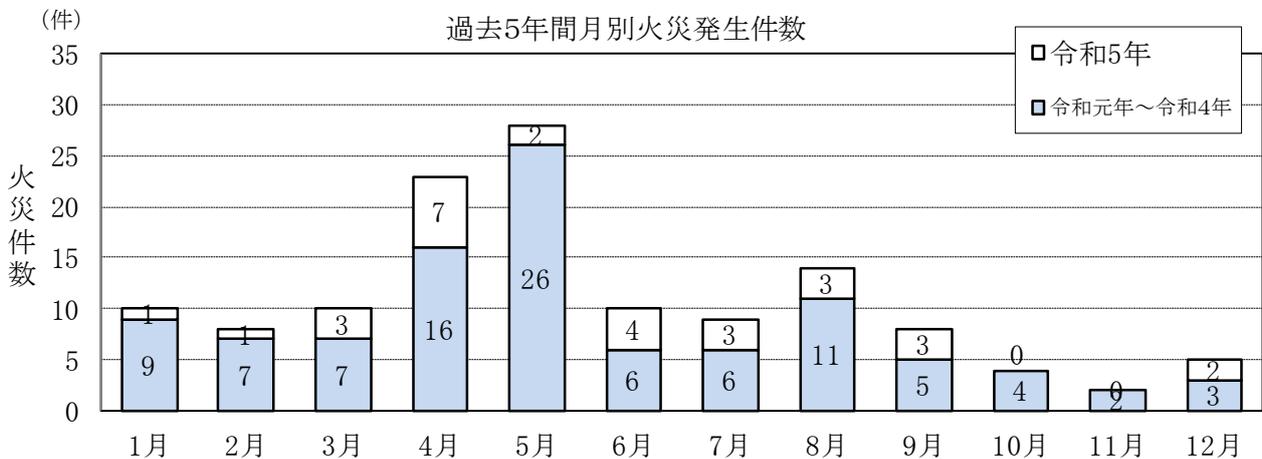


3. 月別火災発生状況

令和5年中の火災件数を月別にみると、4月に最も多く火災が発生した。10月、11月は火災件数が0件であった。

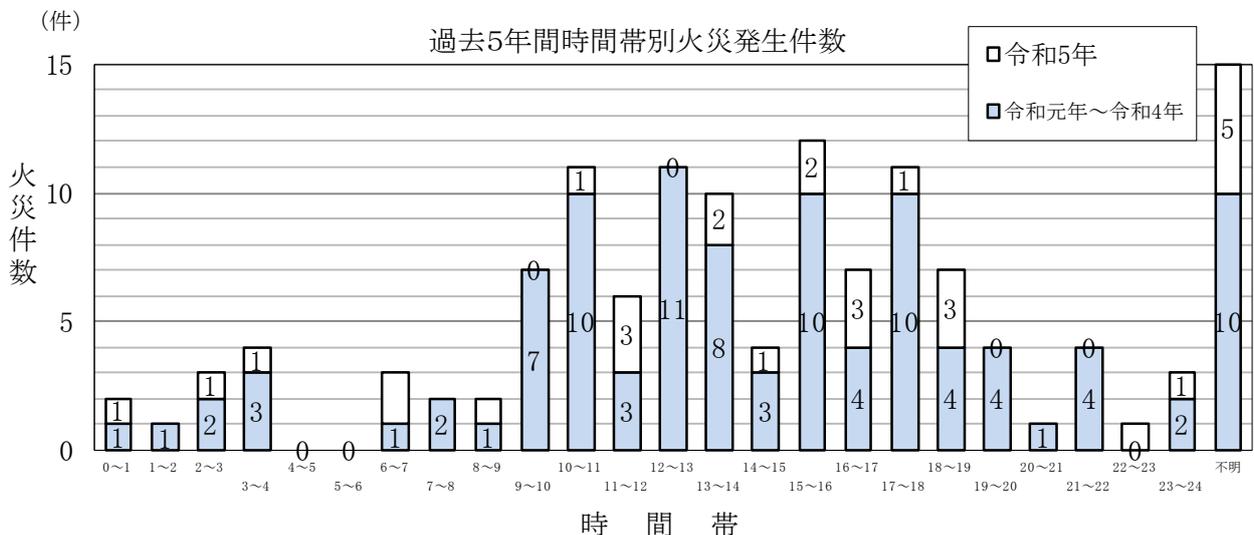


過去5年間の火災件数を月別でみると、春の4・5月に火災が多く発生している。



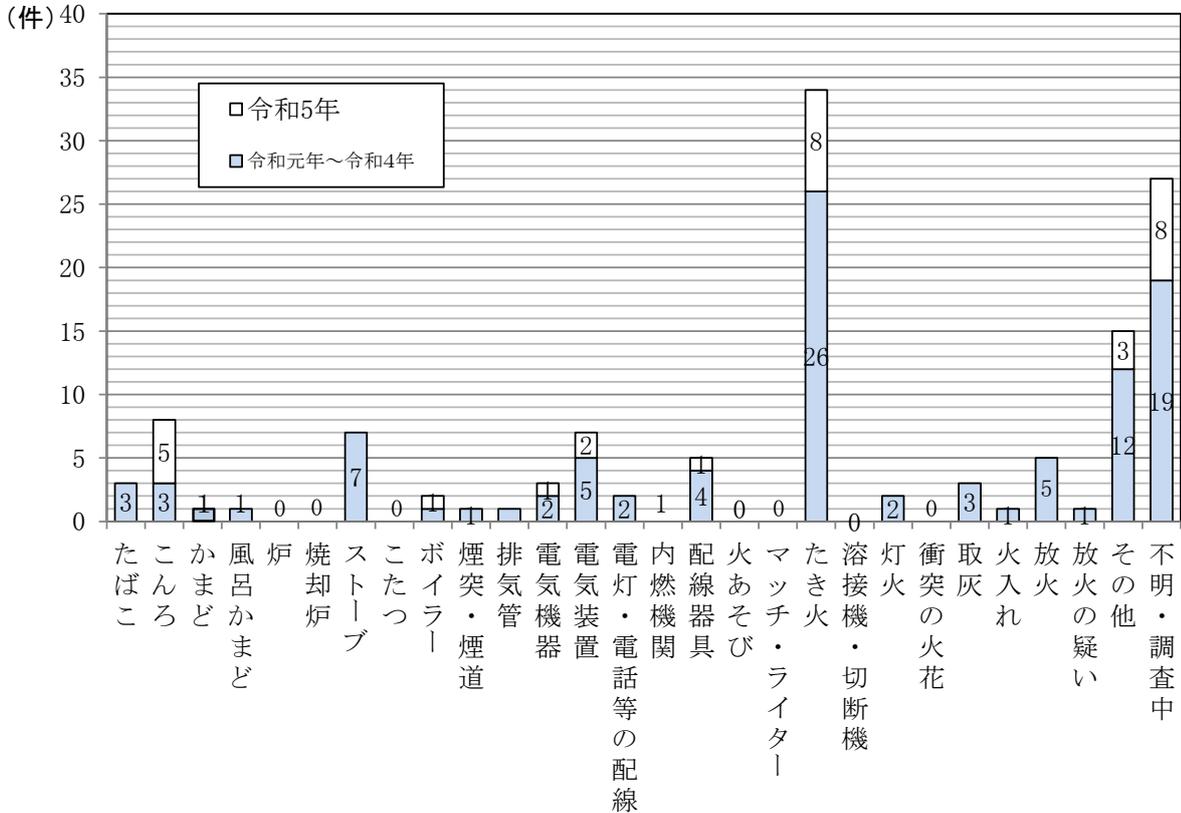
4. 過去5年間の時間帯別火災発生状況

9時から18時の活動時間帯に火災が発生していることが多く、全体の約7割を占めている。



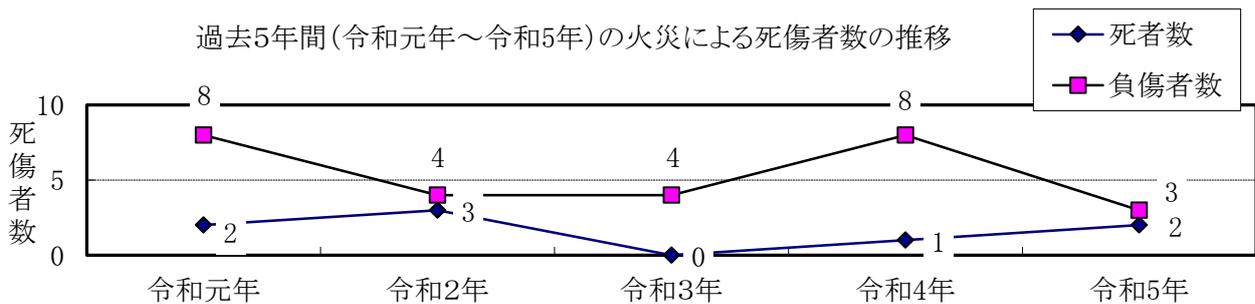
5. 過去5年間の原因別火災発生状況

令和5年中の火災の出火原因は、例年1番多いたき火であり、過去5年間を顧みても、明らかにたき火を原因とする火災が多い。



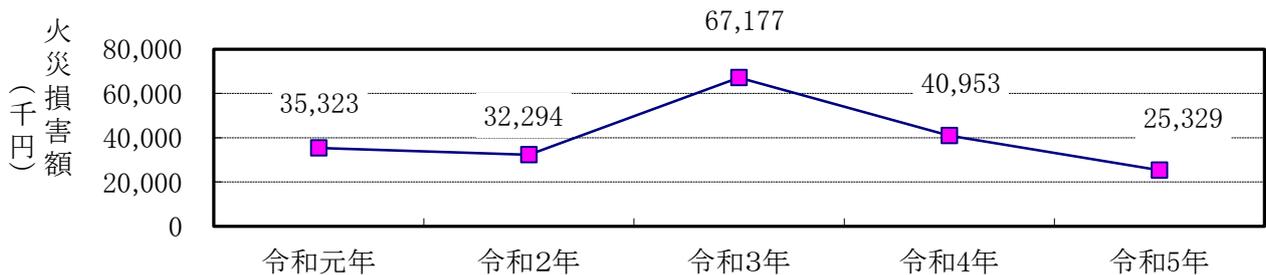
6. 過去5年間の火災による死傷者の数

過去5年間(令和元年～令和5年)の火災による死傷者数の推移



7. 過去5年間の火災による損害額の状況

過去5年間(令和元年～令和5年)の火災による損害額の推移



8. 過去5年間の火災発生状況

区分	火災件数					焼損棟数					罹災世帯数				罹災人員	死傷者数			焼損床面積		
	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計		死者	負傷者	計	建物 (㎡)	林野 (a)	
令和5年	十日町市	12	3	1	7	23	22	5		6	11	4		11	15	40	2	3	5	1251.97	16.45
	十日町地域	8	3	1	3	15	12	3		4	5	2		7	9	27	2	2	4	636.74	16.45
	川西地域	2			3	5	8	2		2	4	2		3	5	9				615.23	
	中里地域	1				1	1				1							1	1		
	松代地域	1			1	2	1				1			1	1	2					
	松之山地域																				
	津南町	3	2	1		6	4	2			2	2		1	3	8					
計	15	5	2	7	29	26	7		6	13	6		12	18	48	2	3	5	1251.97	16.45	
令和4年	十日町市	9	1	3	2	15	5		2	12	19	3		10	13	42	1	7	8	681.33	10.46
	十日町地域	5	1	3	1	10	3		2	5	10	1		5	6	24	1	6	7	257.67	10.46
	川西地域				1	1															
	中里地域	1				1	1			2	3	1		2	3	9				138.81	
	松代地域	2				2	1			4	5	1		3	4	9		1	1	284.85	
	松之山地域	1				1				1	1										
	津南町	1		1	1	3	1				1	1			1	5		1	1	158.62	
計	10	1	4	3	18	6		2	12	20	4		10	14	47	1	8	9	839.95	10.46	
令和3年	十日町市	7	1	3	7	18	2		3	5	10			6	6	15		3	3	359.74	3.78
	十日町地域	6	1	1	5	13	2		3	4	9			5	5	13		3	3	359.74	3.78
	川西地域			2		2															
	中里地域				1	1															
	松代地域	1			1	2				1	1			1	1	2					
	松之山地域																				
	津南町	5	1		2	8	5	1	2	1	9	2	1	2	5	17		1	1	682.77	1.09
計	12	2	3	9	26	7	1	5	6	19	2	1	8	11	32		4	4	1042.51	4.87	
令和2年	十日町市	10	1	4	10	25	3	3	5	5	16	2	2	3	7	7	3	3	6	694.94	21.28
	十日町地域	4		2	2	8	1		2	3	6									131.12	
	川西地域	3		1	4	8		3			3		1		1	3	2	1	3	231.02	
	中里地域	1		1	2	4	1		1		2	1		1	2	1	1	1	2	233.54	
	松代地域	1	1		1	3			1		1			1	1	2		1	1		21.28
	松之山地域	1			1	2	1		1	2	4	1	1	1	3	1				99.26	
	津南町				1	1												1	1		
計	10	1	4	11	26	3	3	5	5	16	2	2	3	7	7	3	4	7	694.94	21.28	
令和元年	十日町市	15	4		7	26	7	2	11	9	29	4	3	12	19	51	1	8	9	928.32	83.20
	十日町地域	11	2		4	17	5	2	9	8	24	4	3	10	17	44	1	5	6	770.51	11.30
	川西地域	2			1	3	1		2		3			1	1	5	1		1	19.00	
	中里地域				1	1															
	松代地域	2	1		1	4	1			1	2					2		2	2	138.81	40.90
	松之山地域		1			1								1	1			1	1		31.00
	津南町	1			2	3	1				1									24.44	
計	16	4		9	29	8	2	11	9	30	4	3	12	19	51	1	8	9	952.76	83.20	

9. 建築確認申請用途及び建築通知、工事別処理状況

令和5年度(単位:件)

対象物	区分	新築	増築	改築	移転	用途変更	大規模 の修繕 模様替え	計	
(1)	イ	劇場・映画館等							
	ロ	公会堂・集会場							
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブの類							
	ロ	遊技場・ダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
(3)	イ	待合・料理店の類							
	ロ	飲食店							
(4)		百貨店・マーケット・店舗	3	1				4	
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1			1		2	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅							
(6)	イ	(1) 病院							
		(2) 診療所							
		(3) 助産所・(1)(2)を除く病院・診療所							
		(4) 無床診療所・無床助産所	2					2	
	ロ	(1) 老人短期入所施設等							
		(2) 救護施設							
		(3) 乳児院							
		(4) 障害児入所施設	1					1	
		(5) 障害者支援施設							
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等							
		(2) 更生施設							
		(3) 助産施設・保育所等							
		(4) 児童発達支援センター等							
		(5) 身体障害者福祉センター等							
	ニ	幼稚園・特別支援学校							
(7)		小学校・中学校・高等学校 各種学校	1					1	
(8)		図書館・博物館・美術館							
(9)	イ	蒸気浴場熱気浴場							
	ロ	公衆浴場							
(10)		車両の停車場							
(11)		神社・寺院・教会の類	1					1	
(12)	イ	工場・作業所	2	2				4	
	ロ	映画スタジオ							
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	6					6	
	ロ	飛行機の格納庫							
(14)		倉庫	4	2				6	
(15)		前各項に該当しない事業所	7	1				8	
(16)	イ	複合用途防火対象物で 特定用途の存するもの	1	1				2	
	ロ	上記以外の複合用途対象物	1					1	
(18)		アーケード(50m以上)							
その他		専用住宅等	12	2	2		1	17	
		建築通知	53	9	3		1	66	
合計			95	18	5		1	2	121

10. 消防用設備等(特殊消防用設備等)着工届・設置届受理状況

過去5年間(令和元年度～令和5年度)

年 別 設 備 別	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	着工届	設置届								
消 火 器	/	31	/	25	/	36	/	39	/	50
屋 内 消 火 栓 設 備	2	2		1	1	1	4	3	2	3
スプリンクラー設備	2	5	1	2	2	2	1	3		1
不活性ガス消火設備			1	1	1	2				1
粉 末 消 火 設 備		2	1	1	1	1	2	3	3	3
屋 外 消 火 栓 設 備			1	1	1	2		1		1
動力消防ポンプ設備	/	3	/	3	/	1	/	1	/	5
自動火災報知設備	30	55	34	67	31	66	32	74	34	81
漏電火災警報設備	/		/		/		/		/	
消防機関へ通報する 火災報知設備	8	7	3	2	4	4	2	2	8	9
非 常 警 報 設 備	/	11	/	7	/	7	/	11	/	13
避 難 器 具	3	3		2	3	5		1		1
誘導灯・誘導標識	/	48	/	36	/	49	/	66	/	75
連 結 送 水 管				1						
パッケージ型消火設備	4	3	1	1	1	1	2	2	2	2
合 計	49	170	42	150	45	177	43	206	49	245

11. 防火対象物の状況(棟数)

令和6年4月1日現在(単位:棟)

令別表第一用途		十日町市	十日町地域					津南町	計	
			(十日町地域)	(川西地域)	(中里地域)	(松代地域)	(松之山地域)			
(1)	イ	6	4	2				6		
	ロ	28	19	5	1	1	2	1	29	
(2)	イ							2	2	
	ロ	3	3					1	4	
	ハ									
	ニ									
(3)	イ	5	4		1				5	
	ロ	93	70	9	5	4	5	15	108	
(4)		98	84	4	3	4	3	28	126	
(5)	イ	87	39	8	9	12	19	46	133	
	ロ	221	193	9	9	4	6	56	277	
(6)	イ	(1)	1	1					1	
		(2)	2	2					2	
		(3)	1				1		1	
		(4)	14	11	3				1	15
	ロ	(1)	6	4	1		1		4	10
		(2)								
		(3)								
		(4)								
		(5)	5	2	2	1				5
	ハ	(1)	8	4	1		3		3	11
		(2)								
		(3)	20	15	2	1	1	1	5	25
		(4)								
		(5)	32	26	3	1	2		6	38
	ニ	4	2	2					4	
	(7)		39	27	4	2	3	3	5	44
(8)		41	20		2	15	4	5	46	
(9)	イ									
	ロ	4		2	1		1	1	5	
(10)		2	2						2	
(11)		51	34	7	3	5	2	6	57	
(12)	イ	459	334	66	27	23	9	94	553	
	ロ									
(13)	イ	96	68	11	5	7	5	28	124	
	ロ									
(14)		356	212	62	41	24	17	102	458	
(15)		544	343	78	53	37	33	204	748	
(16)	イ	344	254	22	24	21	23	61	405	
	ロ	345	278	23	12	22	10	37	382	
(17)		8	1	7					8	
(18)~(20)		26	26						26	
計		2,949	2,082	333	201	190	143	711	3,660	

12. 中高層建築物の現況(防火対象物)

令和6年4月1日(単位:棟)

防火対象物別			階層別					計
			4階	5階	6階	7階	8階	
(1)	イ	劇場・映画館等	1					1
	ロ	公会堂・集会場	1					1
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブの類						
	ロ	遊技場・ダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待合・料理店の類						
	ロ	飲食店						
(4)		百貨店・マーケット・店舗						
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	8	2	2		1	13
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	16	1				17
(6)	イ	(1) 病院	1			1		2
		(2) 診療所						
		(3) 助産所・(1)(2)を除く病院・診療所						
		(4) 無床診療所・無床助産所						
	ロ	(1) 老人短期入所施設等						
		(2) 救護施設						
		(3) 乳児院						
		(4) 障害児入所施設						
		(5) 障害者支援施設						
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	1					1
		(2) 更生施設						
		(3) 助産施設・保育所等						
		(4) 児童発達支援センター等						
		(5) 身体障害者福祉センター等						
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1					1
(7)		小学校・中学校・高等学校 各種学校	11					11
(8)		図書館・博物館・美術館	1					1
(9)	イ	蒸気浴場熱気浴場						
	ロ	公衆浴場						
(10)		車両の停車場						
(11)		神社・寺院・教会の類						
(12)	イ	工場・作業所	5	2	1			8
	ロ	映画スタジオ						
(13)	イ	自動車車庫・駐車場						
	ロ	飛行機の格納庫						
(14)		倉庫	3					3
(15)		前各項に該当しない事業所	14	1				15
(16)	イ	複合用途防火対象物で特定用途の存するもの	6	6	1			13
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	6	2	1			9
(17)～(20)		文化財等、アーケード、山林、舟車等						
合計			75	14	5	1	1	96

13. 防火管理者選任状況

令和6年4月1日

市町(地域)別 区分		十日町市											津南町		合計		項別選任率			
		十日町地域		川西地域		中里地域		松代地域		松之山地域			対象物	選任数	対象物	選任数				
令別表第一		対象物	選任数	対象物	選任数	対象物	選任数	対象物	選任数	対象物	選任数	対象物	選任数	対象物	選任数	対象物	選任数			
(1)	イ	4	4	2	2	2	2									4	4	100%		
	ロ	23	23	16	16	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1	24	24	100%		
(2)	イ													1	1	1	1	100%		
	ロ	2	2	2	2									1	1	3	3	100%		
	ハ																			
(3)	イ	3	3	2	2			1	1							3	3	100%		
	ロ	41	41	30	30	5	5	3	3	2	2	1	1	5	5	46	46	100%		
(4)		59	56	52	49	1	1	2	2	3	3	1	1	10	10	69	66	96%		
(5)	イ	24	24	10	10			4	4	2	2	8	8	7	7	31	31	100%		
	ロ	4	4	2	2	1	1			1	1			1	1	5	5	100%		
(6)	イ	(1)																		
		(2)	2	2	2	2											2	2	100%	
		(3)	1	1							1	1						1	1	100%
		(4)	4	4	3	3	1	1										4	4	100%
	ロ	(1)	6	6	4	4	1	1			1	1			4	4	10	10	100%	
		(2)																		
		(3)																		
		(4)																		
		(5)	1	1			1	1										1	1	100%
	ハ	(1)	4	4	3	3	1	1							3	3	7	7	100%	
		(2)																		
		(3)	11	11	8	8	1	1	1	1			1	1	5	5	16	16	100%	
		(4)																		
		(5)	6	6	5	5	1	1										6	6	100%
ニ	3	3	2	2	1	1										3	3	100%		
(7)		30	30	19	19	4	4	2	2	3	3	2	2	5	5	35	35	100%		
(8)		12	12	8	8			1	1	2	2	1	1	3	3	15	15	100%		
(9)	イ																			
	ロ	2	2					1	1			1	1	1	1	3	3	100%		
(10)																				
(11)		20	19	10	9	4	4	1	1	5	5			4	4	24	23	96%		
(12)	イ	9	9	8	8	1	1							3	3	12	12	100%		
	ロ																			
(13)	イ																			
	ロ																			
(14)		2	2	2	2											2	2	100%		
(15)		50	50	39	39	3	3	5	5	1	1	2	2	16	15	66	65	98%		
(16)	イ	137	136	94	93	10	10	13	13	6	6	14	14	21	21	158	157	99%		
	ロ	43	43	32	32	2	2	3	3	5	5	1	1	5	5	48	48	100%		
(17) ~ (20)		1	1			1	1									1	1	100%		
合計		504	499	355	350	45	45	38	38	33	33	33	33	96	95	600	594			
選任率(%)		99%		99%		100%		100%		100%		100%		99%		99%				

14. 火災予防条例による届出状況

令和5年度(単位:件)

届出別	月 別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防火対象物使用開始		182	12	13	11	14	7	20	17	24	20	23	14	7
催物開催		16	1		1	2	3	1	2			1	4	1
道路工事		818	58	49	110	110	82	94	84	110	44	27	17	33
火災とまぎらわしい行為		70	4	3	5	5	2	4	7	1	19	14	6	
煙火打上		60		3	7	12	20	2	3		1	1	8	3
電気設備		21		3	1			2	6	3	2	2	2	
炉・ボイラー設備		32	3		1	8	1	4	4	3	4	4		
少量危険物		48	5	1	2	3	5	3	8	8	7	6		
合計		1,247	83	72	138	154	120	130	131	149	97	78	51	44

15. 危険物製造所等施設状況

(1) 市町別設置状況

令和6年3月31日(単位:施設)

製造所等の別	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				合計		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所		小計	
市町(地域)の別															
十日町市		5	16	2	150	2	71	1	247	47	1	44	92	339	
(十日町地域)		3	13	2	97	2	45		162	31	1	31	63	225	
(川西地域)		2	1		21		10	1	35	5		5	10	45	
(中里地域)					13		7		20	3		3	6	26	
(松代地域)			2		10		7		19	5		3	8	27	
(松之山地域)					9		2		11	3		2	5	16	
津南町		3	2		39	1	10	1	56	9		14	23	79	
合計		8	18	2	189	3	81	2	303	56	1	58	115	418	

(2) 令和4年度の新規設置状況

(単位:施設)

製造所等の別	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				合計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所		小計
市町(地域)の別														
十日町市							3		3					3
(十日町地域)							2		2					2
(川西地域)														
(中里地域)							1		1					1
(松代地域)														
(松之山地域)														
津南町		1							1					1
合計		1					3		4					4

16. 危険物の許可数量と類別

令和6年3月31日(単位:施設)

製造所等の別 数量・類別		製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所		小計
許 可 数 量	5倍以下		4	5	1	83	3	75	1	172	2	1		28	31	203
	5倍を超え10倍以下		3	6	1	58			1	69	9			20	29	98
	10 " 50 "		1	6		37		6		50	15			9	24	74
	50 " 100 "					7				7	7			1	8	15
	100 " 150 "					1				1	3				3	4
	150 " 200 "					1				1	8				8	9
	200 " 1000 "			1		2				3	12				12	15
	合 計		8	18	2	189	3	81	2	303	56	1		58	115	418
類 別	第一類															
	第二類															
	第三類															
	第四類		8	18	2	189	3	81	2	303	56	1		58	115	418
	第五類															
	第六類															
	混在															
	合 計		8	18	2	189	3	81	2	303	56	1		58	115	418

17. 危険物製造所等の申請届出状況

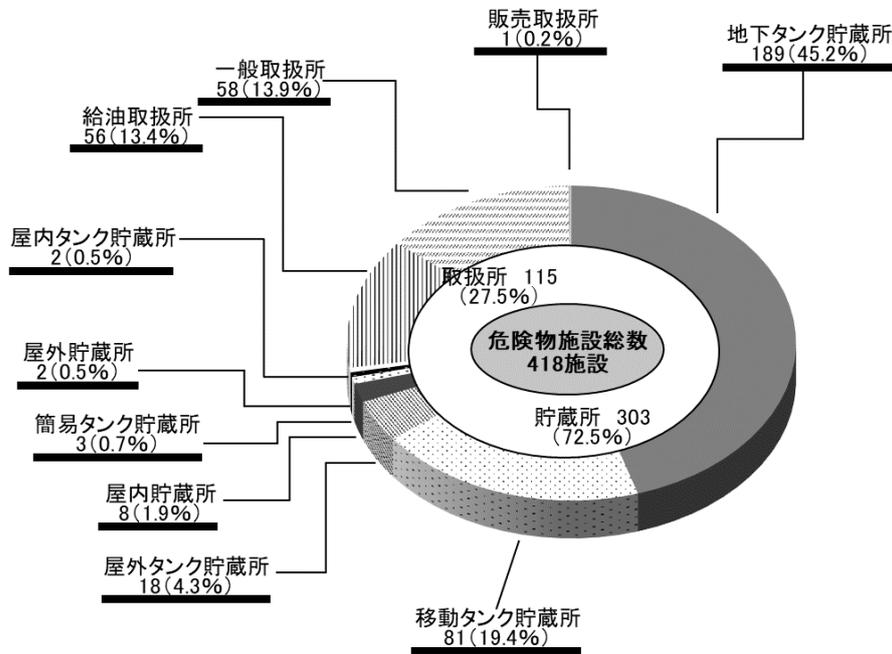
令和5年度(単位:件)

区分 月別	危険物製造所等								タンク 検査申 請	(承 認 申 請)(仮 貯 蔵 仮 取 扱)	(選 任 届)(危 険 物 保 安 監 督 者)	完 成 検 査 済 証	タンク 検査済 証	合 計
	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	完 成 検 査 申 請 更	設 置 ・ 変 更 許 可 証	仮 使 用 承 認 申 請	廃 止 届	譲 渡 引 渡 届	種 類 数 変 更 届						
4月	1	2	2	3	1	2				1	4	2		18
5月		1	1	1	1					1	1	1		7
6月	1		2	1				1		1	1	2		9
7月		1		1	1	2				2	1			8
8月			1			1						1		3
9月		2		2	2						1			7
10月	1		2	1		2					4	2		12
11月	1	1	3	2		2				1	2	3		15
12月											3			3
1月						1								1
2月						1					3			4
3月											3			3
合計	4	7	11	11	5	11		1		6	23	11		90

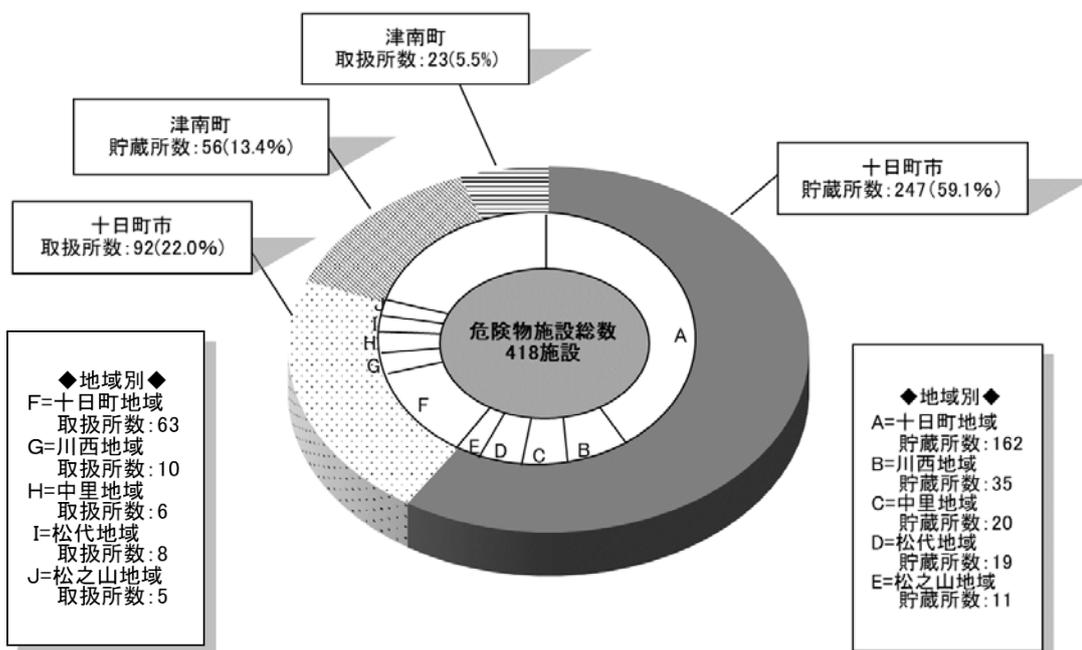
(単位:件)

区分 年別	危険物製造所等								タンク 検査申 請	(承 認 申 請)(仮 貯 蔵 仮 取 扱)	(選 任 届)(危 険 物 保 安 監 督 者)	完 成 検 査 済 証	タンク 検査済 証	合 計
	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	完 成 検 査 申 請 更	設 置 変 更 許 可 証	仮 使 用 承 認 申 請	廃 止 届	譲 渡 引 渡 届	種 類 数 変 更 届						
S35~H22	1,236	1,100	2,264	2,348	367	751	297	98	305	113	1,127	2,622	304	12,932
H23	12	34	30	43	10	37	1	6	4	5	17	39	4	242
H24	10	32	35	40	14	41	5	1	9	3	33	41	9	273
H25	7	55	59	62	31	21	5	1	12	2	15	59	12	341
H26	10	38	49	49	20	24	2	4	3	9	24	49	3	284
H27	10	30	41	40	13	19	2	2	2	8	24	41	2	234
H28	2	16	15	18	5	18	2			9	21	15		121
H29	9	32	42	42	3	22	5	2		3	17	43		220
H30	3	51	53	55	8	20	6	1	4	3	12	52	4	272
R01	9	49	57	59	9	15	7	1	4	7	15	58	5	295
R02	3	20	20	22	7	8	1	2		4	12	20		119
R03	7	20	25	27	5	11	4	2		3	16	24		144
R04	6	15	24	22	8	15	25	1	10	8	19	24	10	187
R05	4	7	11	11	5	11		1		6	23	11		90
合計	1,328	1,499	2,725	2,838	505	1,013	362	122	353	183	1,375	3,098	353	15,754

18. 危険物施設の許可区分構成比



19. 危険物施設の市町別構成比





通信編

通信編

1. 消防通信施設状況

令和6年4月1日

施設名称		数	施設名称		数	
1	指令装置		10	出動車両運用管理装置		
	(1) 指令台	2台		(1) 管理装置	1台	
	(2) 自動出動指定装置 (制御処理装置、ディスプレイ含む)	1式		(2) 車両運用端末装置	25台	
	(3) 地図等検索装置 (地図データ、ディスプレイ含む)	1式		(3) 車外設定端末装置	8組	
	(4) 長時間録音装置	1式		11 システム監視装置	1式	
	(5) 非常用指令設備	1式		12 データ保守装置	1式	
	(6) 指令制御装置 (携帯・IP電話受信転送装置含む)	1式		電源設備		
	(7) プリンタ	5台		13 (1) 無停電電源装置	2台	
	(8) カラープリンタ	1台		(2) 無停電電源装置(署所用)	3台	
	(9) カラープリンタ(複写機)	1台		14 位置情報通知システム	1式	
	(10) スキャナ	1台		15 携帯電話一斉指令装置	1式	
	(11) 署所端末装置	4台		16 支援情報端末	1式	
(12) 駆け込み通報装置	3台	17 多目的情報端末	2台			
2	表示盤		20	18 119受信FAX	1台	
	(1) 車両・支援情報表示盤(4面マルチ構成)	1面		19 NET119受信パソコン	1台	
	(2) 多目的情報表示盤(4面マルチ構成)	1面		署所監視カメラシステム		
	(3) 災害対策室用表示盤	2面		(1) 屋外用監視カメラ	9台	
	(4) 本部事務室用表示盤	4面		(2) 屋内用監視カメラ	9台	
3	無線統制台	1台	21	(3) 監視用モニタ装置	1式	
	4	指令電送装置			構内自動電話交換設備	
		(1) 指令情報送信装置		1台	(1) 多機能電話	65台
		(2) 指令情報出力装置		4台	(2) 一般電話	30台
		(3) 署所表示盤		4面	(3) 構内デジタル電話主装置(本部用)	1台
5 気象情報収集装置		2式	(4) 構内デジタル電話主装置(署所用)	2台		
6 災害状況等自動案内装置	1台	22	避雷装置			
7 順次指令装置	1台		(1) 高速避雷器(本部用)	1式		
8 音声合成装置	1式		(2) 高速避雷器(しぶみ分署用)	1式		
9	無線LAN設備		1式	(3) 高速避雷器(南分署用)	1式	
				(4) 高速避雷器(救急ステーション用)	1式	
			(5) 高速避雷器(城山局舎用)	1式		
			23 情報共有装置	1式		
			24 GISシステム	1式		

回線状況等			
	名称	回線数	備考
1	119番受付回線	8	本部8回線
2	一般加入回線		
	(1) 代表電話	8	本部2回線、救急ST2回線、各分署4回線
	(2) ダイヤルイン	6	本部6回線(総務課、警防課、予防課、消防署、通信指令室、災害対策作戦室)
	(3) ファックス、インターネット	4	本部2回線、各分署2回線
	(4) 順次指令、リモート	3	本部3回線
	(5) 災害案内	6	本部6回線
	(6) 携帯119番転送	4	本部4回線
	(7) 指令台発信専用	2	本部2回線
	(8) 衛星回線	1	VSAT
3	携帯電話	16	本部8回線(衛星2回線含む) 救急ステーション3回線、分署5回線

2. 無線電話機設置状

令和6年4月1日

局の種別		設置場所等 (積載車両等)	呼出名称	出力	
城山	基	城山	十日町消防城山	10	
	固	城山	十日町消防	0.2	
消防本部	卓	消防本部	十日町消防	0.2	
			十日町消防901	5	
			十日町消防902	5	
			十日町消防903	5	
			十日町消防911	5	
			十日町消防921	5	
			指令1号車	十日町指令1	5
			指揮1号車	十日町指揮1	5
				十日町指揮11	5
				十日町指揮12	5
	十日町指揮13	5			
	十日町現場本部1	5			
	十日町現場本部2	5			
	十日町現場本部3	5			
	化学車	十日町化学1	5		
		十日町化学11	5		
	ポンプ1号車	十日町ポンプ1	5		
		十日町ポンプ11	5		
	ポンプ3号車	十日町ポンプ3	5		
		十日町ポンプ33	5		
	救助工作車	十日町救助1	5		
		十日町救助11	5		
	はしご車	十日町はしご1	5		
		十日町はしご11	5		
	救急1号車	十日町救急1	5		
		十日町救急11	5		
	救急3号車	十日町救急3	5		
		十日町救急33	5		
	救急5号車	十日町救急5	5		
		十日町救急55	5		
	資機材搬送1号車	十日町資機搬1	5		
	トラック	十日町トラック1	5		
		十日町トラック11	5		
	連絡1号車	十日町連絡1	5		
	連絡2号車	十日町連絡2	5		
	連絡3号車	十日町連絡3	5		
	予防課	十日町原調11	5		
	通信指令室	十日町携帯1	5		
		十日町携帯2	5		
		十日町携帯3	5		
		十日町携帯4	5		
		十日町携帯5	5		
		十日町携帯6	5		
		十日町携帯7	5		
		十日町携帯8	5		
		十日町携帯9	5		
		十日町携帯10	5		
十日町携帯11		5			
十日町携帯12		5			
十日町携帯13		5			
十日町携帯14		5			
十日町現場本部4		5			
十日町消防1		5			
南タンク1		5			
南タンク11		5			

局の種別		設置場所等 (積載車両等)	呼出名称	出力
救急ST	卓	救急ST	救急ステーション901	5
	陸	救急2号車	十日町救急2	5
			十日町救急22	5
南分署	卓	南分署	南消防901	5
	陸	南指令1号車	南指令1	5
			南指令11	5
		南指令2号車	南指令2	5
			南指令22	5
		南ポンプ1号車	南ポンプ1	5
			南ポンプ11	5
		ポンプ2号車	十日町ポンプ2	5
			十日町ポンプ22	5
	救急4号車	南救急1号車	南救急1	5
南救急11		5		
十日町救急4		5		
しづみ分署	卓	しづみ分署	しづみ消防901	5
	陸	しづみ指令1号車	しづみ指令1	5
			しづみ指令11	5
		しづみポンプ1号車	しづみポンプ1	5
			しづみポンプ11	5
しづみ救急1号車	しづみ救急1	5		
しづみ救急11	5			

※ 基:基地局 固:固定局 卓:卓上移動固定局 陸:陸上移動局

局の種別	波の種別							統制波1	統制波2	統制波3	
	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波1	主運用波2	主運用波3	主運用波4				主運用波5
基地局	○	○	○						○	○	○
固定局	○	○	○						○	○	○
卓上移動固定局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陸上移動局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

消防無線電話機の署・所別設置数

種別 設置場所	種別			陸上移動局			計
	基地局	固定局	卓上型固定移動局	可搬型	車載型	携帯型	
城山	1	1					2
十日町消防本部		1	5	4	17	27	54
救急ST			1		1	2	4
南分署			1		6	6	13
しづみ分署			1		3	3	7
計	1	2	8	4	27	38	80

3. 消防団無線電話機設置状況

【十日町市消防団】

配置場所	台数	種別
団本部	6	携帯
十日町方面隊 (方面隊長～分団長)	18	携帯
十日町方面隊 消防器具置場(積載車)	22	携帯
川西方面隊 (方面隊長～分団長)	10	携帯
川西方面隊 消防器具置場(積載車)	11	携帯
中里方面隊 (方面隊長～分団長)	10	携帯
中里方面隊 消防器具置場(積載車)	9	携帯
松代方面隊 (方面隊長～分団長)	9	携帯
松代方面隊 消防器具置場(積載車)	8	携帯
松之山方面隊 (方面隊長～分団長)	10	携帯
松之山方面隊 消防器具置場(積載車)	9	携帯
小 計	122	

【津南町消防団】

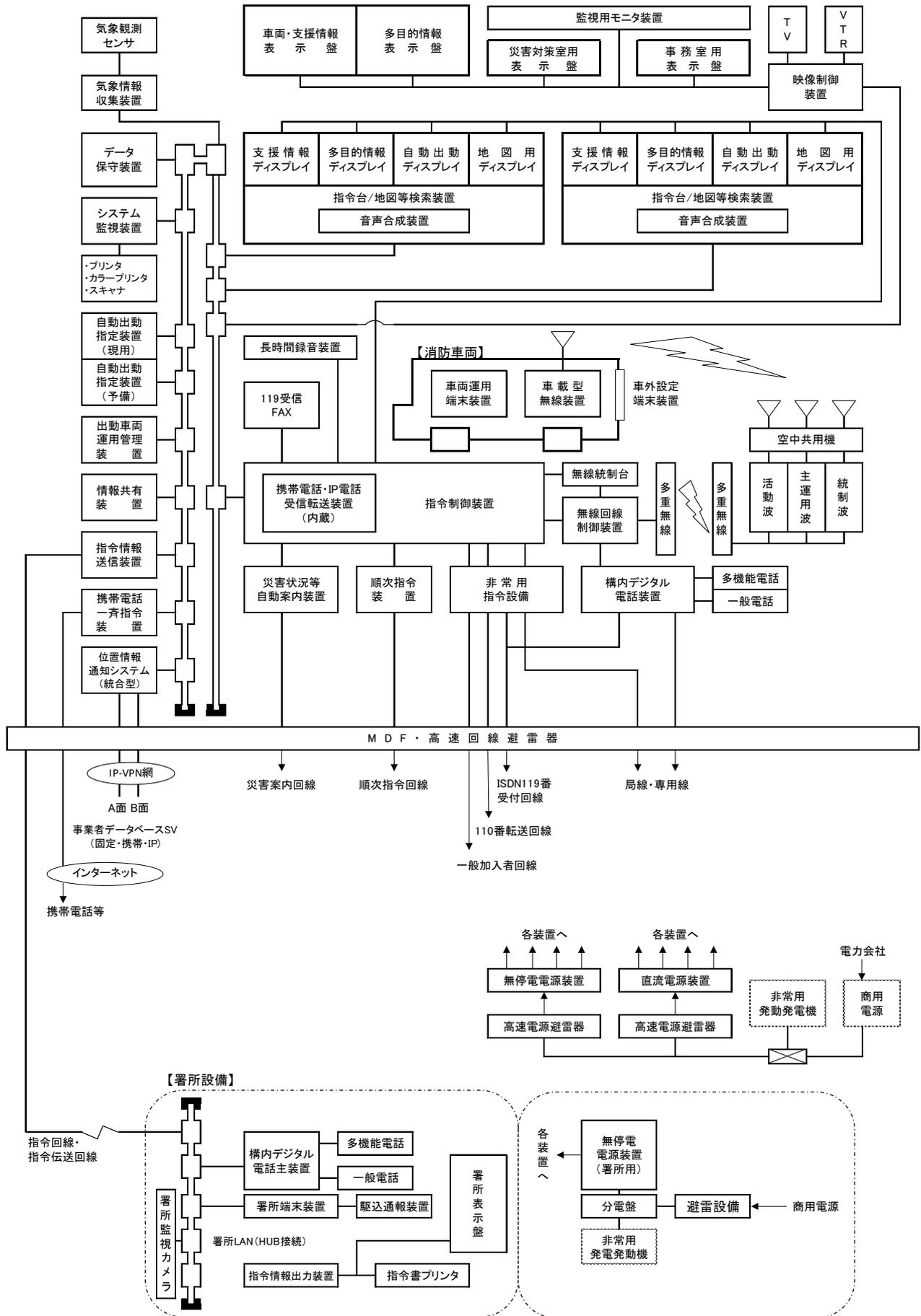
配置場所	台数	種別
団本部	6	携帯
分団長	7	携帯
消防器具置場(積載車)	16	携帯
小 計	29	

【市役所・予備】

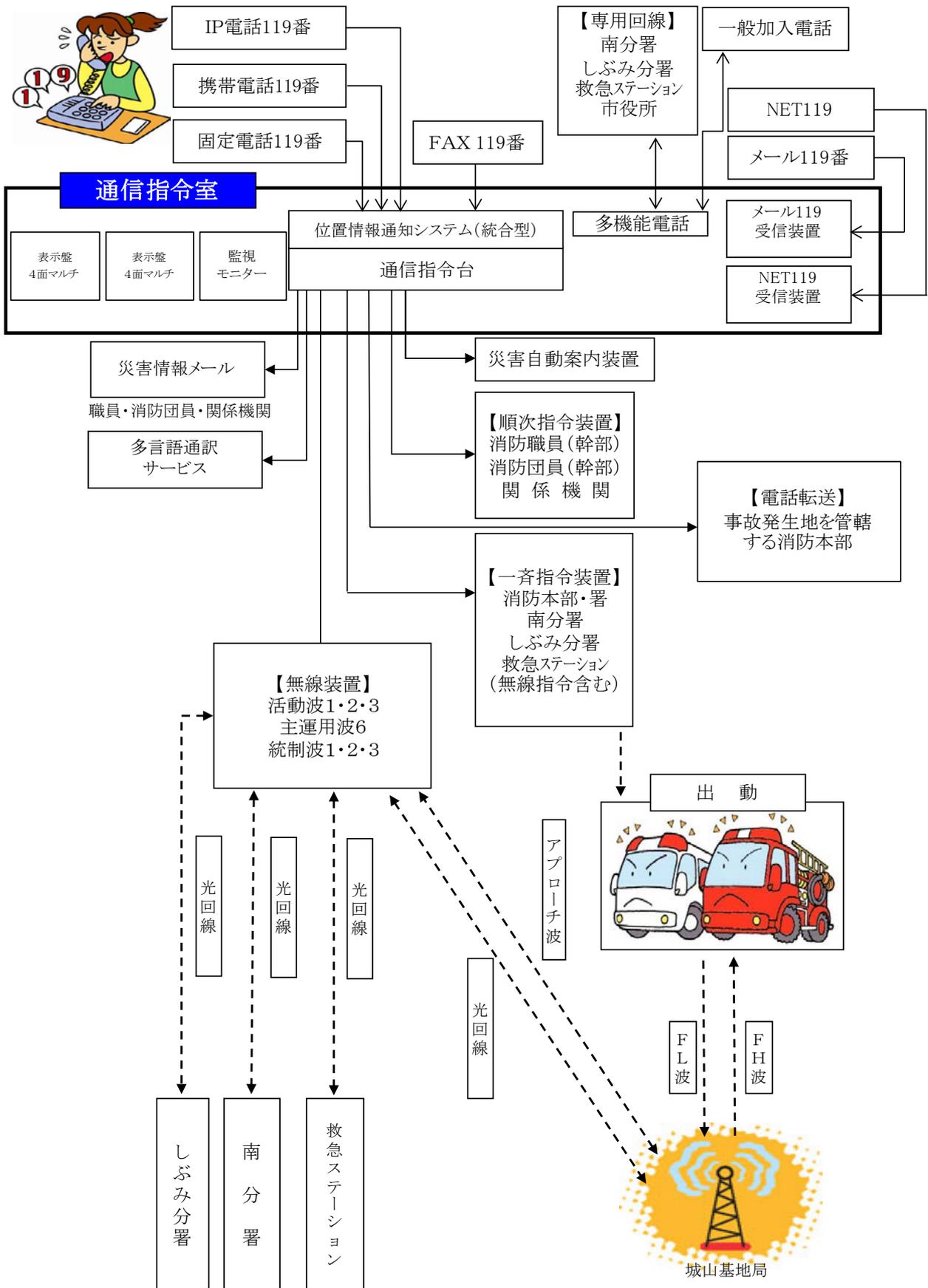
配置場所	台数	種別
本部(予備)	11	携帯
南(予備)	2	携帯
市役所	1	携帯
小 計	14	

合 計	165	
-----	-----	--

4. システム系統図



5. 通信指令室系統図



6. 119番等受信状況

種 別	件数	割合	119番受信状況			一般加入電話受信状況		その他
			固定電話	携帯電話	IP・光電話	一般加入 (固定)	一般加入 (携帯)	その他 駆込み等
火 災	59	1.05 %	6	28	17	5	3	
救 急	3,481	61.85 %	784	1,119	1,325	181	58	14
救 助	36	0.64 %	2	18	3	11	1	1
警 戒	128	2.27 %	13	16	2	71	22	4
訓 練	450	8.00 %	194	65	191			
問 合 せ	214	3.80 %	49	85	39	38	3	
病 院 照 会	6	0.11 %	1	3	2			
い た ず ら	2	0.04 %		2				
試 験	266	4.73 %	208	16	20	17	1	4
誤 報	309	5.49 %	30	262	15	1		1
そ の 他	677	12.03 %	152	320	39	48	5	113
合 計	5,628	100 %	1,439	1,934	1,653	372	93	137

7. 災害情報問い合わせ状況

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	718	589	1,046	1,261	1,488	1,684	1,596	1,280	1,349	776	872	439	13,098

8. 口頭指導実施状況

(単位:回)

月	内容	指導回数	指導内容				
			心肺蘇生	止血(鼻出血含む)	指趾切断	熱傷	気道異物
1		28	19	8		1	
2		13	9	4			
3		17	6	11			
4		11	7	4			
5		8	7	1			
6		10	9				1
7		11	8	3			
8		11	9	2			
9		7	6			1	
10		14	11		1	1	1
11		12	9	2		1	
12		19	15	2			2
合計		161	115	37	1	4	4

9. 年間気象状況

区分 月	平均気圧 hpa	平均湿度 %	平均風向	平均風速 m/s	最高気温 ℃	最低気温 ℃	平均気温 ℃	降水量 mm (積雪換算含む)
1	1002.7	96.0	南南西	1.6	8.9	-6.8	0.3	301.0
2	1006.3	94.2	南南西	1.3	12.5	-6.1	0.9	172.0
3	1004.8	85.2	北	1.4	20.4	-3.9	6.2	88.5
4	1000.0	78.7	北	2.0	26.1	-0.3	11.2	101.5
5	999.1	81.9	北	1.9	32.8	3.6	16.1	133.5
6	993.9	87.2	北	1.6	30.1	10.0	21.2	230.0
7	995.4	88.5	北	1.7	34.4	17.2	26.0	126.0
8	993.4	78.1	南南西	2.1	37.5	22.2	29.1	11.0
9	997.6	89.5	南南西	1.5	35.3	12.8	24.4	135.5
10	1000.7	90.5	南南西	1.6	24.0	6.2	14.6	276.0
11	1002.5	91.3	南南西	1.9	25.5	-0.2	9.4	250.5
12	1004.4	95.1	南南西	1.5	17.6	-3.8	3.9	223.5
平均	1000.1	88.0	南南西	1.7			13.6	
累計								2049.0

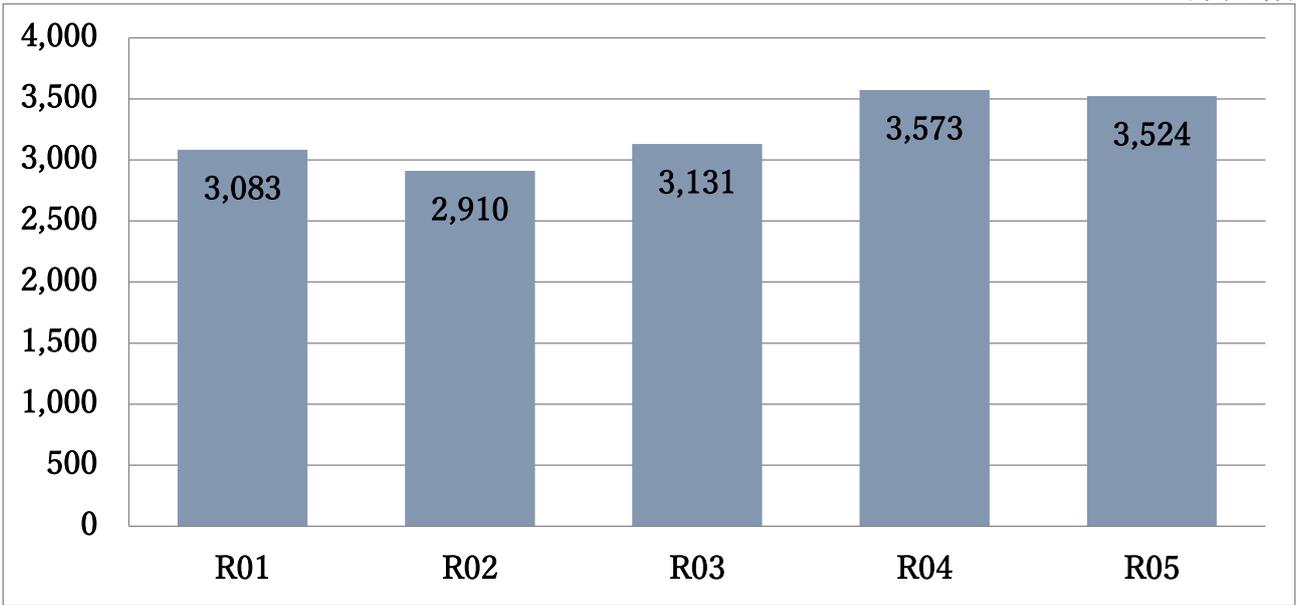


救急編

救急編

1. 過去5年間の救急出動件数の推移

(単位:件)



【十日町地域消防署の救急出動件数】

(単位:件)

各 年	救急事故種別													合 計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その 他				
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送		そ の 他
R01	15			177	46	22	497	4	20	1,757	502	8		35	3,083
R02	15			160	26	18	507	5	31	1,584	521	8		35	2,910
R03	14		1	133	40	10	500	6	32	1,768	576	16		35	3,131
R04	15	4		144	55	8	591	7	24	2,097	558	17		53	3,573
R05	15			148	35	15	542	3	25	2,125	524	13		79	3,524

【津南町上郷地区への応援協定に基づく出動(岳北消防本部栄分署)】

(単位:件)

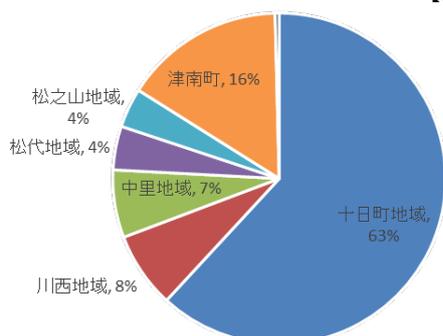
各 年	救急事故種別													合 計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その 他				
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送		そ の 他
R01				1	1		8	1		38					49
R02				5	1		9			36					51
R03							7			28					35
R04				1			10			29	1				41
R05				1			10			28					39

2. 市町別等の救急出動状況

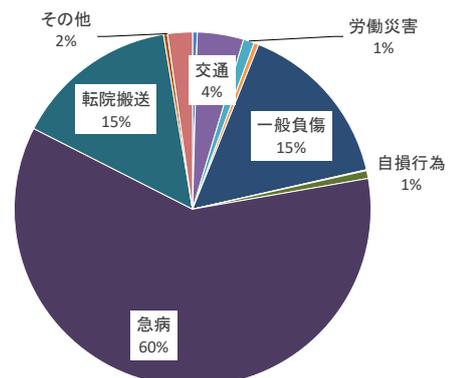
(単位: 件、名)

区分	救急事故種別														合計	
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他					
											転院搬送	医師搬送	資機材等	その他		
十日町市	出動件数	17			131	27	15	451	3	24	1,843	421	12		66	3,010
	不搬送件数	6			11		1	9		2	32					61
	搬送人員(名)	3			110	27	13	427	3	19	1,767	421				2,790
十日町地域	出動件数	14			86	18	14	324	2	19	1,339	341	12		48	2,217
	不搬送件数	6			11		1	9		2	32					61
	搬送人員(名)	2			64	18	12	306	2	15	1,275	341				2,035
川西地域	出動件数	2			12	1		38		1	160	46			5	265
	不搬送件数															
	搬送人員(名)				10	1		37		1	154	46				249
中里地域	出動件数	1			15	2		41	1	3	161	7			6	237
	不搬送件数															
	搬送人員(名)	1			16	2		39	1	2	159	7				227
松代地域	出動件数				9	1	1	20		1	90	26			5	153
	不搬送件数															
	搬送人員(名)				9	1	1	19		1	86	26				143
松之山地域	出動件数				9	5		28			93	1			2	138
	不搬送件数															
	搬送人員(名)				11	5		26			93	1				136
津南町	出動件数	4			27	7	1	96		3	306	103	1		13	561
	不搬送件数															
	搬送人員(名)				22	7	1	95		3	293	102				523
栄村	※応援協定に基づく長野県栄村秋山地区															
	出動件数				1	1		3			8					13
	搬送人員(名)				1	1		3			8					13
管轄外	出動件数							1								1
	不搬送件数															
	搬送人員(名)							1								1
合計	出動件数	15			148	35	15	542	3	25	2,125	524	13		79	3,524
	不搬送件数	12			27		1	16		3	58	1	13		79	210
	搬送人員(名)	3			133	35	14	526	3	22	2,068	523				3,327

【出動件数の地域別割合】



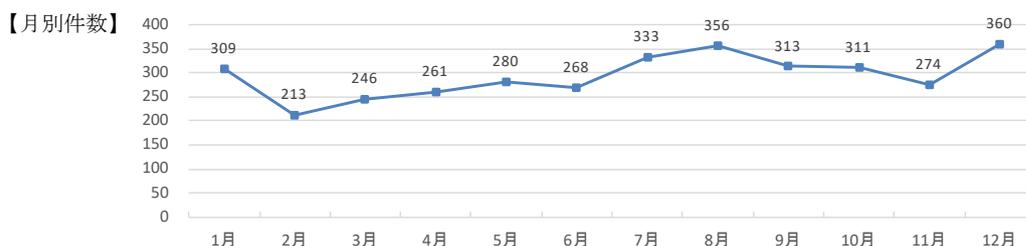
【出動件数の事故種別割合】



3. 月別救急出動状況

(単位:件、名)

区分	救急事故種別													合計		
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他					
											転院搬送	医師搬送	資機材輸送		その他	
1月	出動件数	1			10	5		54	2	3	191	40			3	309
	不搬送件数							3		1	15				3	22
	搬送人員(名)				1			12		2	62	4				81
2月	出動件数	1			11	4		32		1	132	27	1		4	213
	不搬送件数				2			1			5		1		4	13
	搬送人員(名)				10			64			198	80				352
3月	出動件数	3			5		2	40		2	150	37	3		4	246
	不搬送件数	3						1			7		3		4	18
	搬送人員(名)				14	3		178		3	955	316				1,469
4月	出動件数	3			12	2		40			148	42	1		13	261
	不搬送件数	2			2			3			2		1		13	23
	搬送人員(名)	3			36	6		157	1		395	17				615
5月	出動件数				16		1	34		2	175	45	1		6	280
	不搬送件数				3						7		1		6	17
	搬送人員(名)															
6月	出動件数	3			15	3	2	26			169	40	2		8	268
	不搬送件数	3			4			1			2		2		8	20
	搬送人員(名)															
7月	出動件数	1			12	2	1	54		5	204	43	2		9	333
	不搬送件数	1			3			2		2	5		2		9	24
	搬送人員(名)															
8月	出動件数	1			11	6	2	50	1	2	236	39	1		7	356
	不搬送件数	1			3			2			6		1		7	20
	搬送人員(名)							2		1	8	2				13
9月	出動件数	2			14	3	1	57		3	180	43	1		9	313
	不搬送件数	2			3						1		1		9	16
	搬送人員(名)				6		13	9			32	1				61
10月	出動件数				20	4	3	57		2	167	54			4	311
	不搬送件数				5			1	2		4				4	16
	搬送人員(名)															
11月	出動件数				17	3	1	40		3	158	46			6	274
	不搬送件数				2			1			1	1			6	11
	搬送人員(名)															
12月	出動件数				5	3	2	58		2	215	68	1		6	360
	不搬送件数										3		1		6	10
	搬送人員(名)											2				2
合計	出動件数	15			148	35	15	542	3	25	2,125	524	13		79	3,524
	不搬送件数	12			27		1	16		3	58	1	13		79	210
	搬送人員(名)	3			133	35	14	526	3	22	2,068	523				3,327



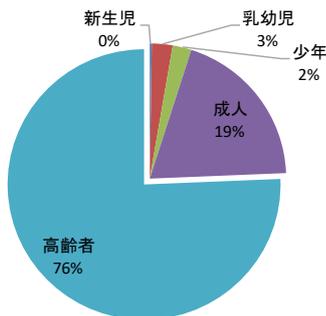
4. 搬送人員の区分(年齢区分・傷病程度・事故種別)

(単位:名)

区分	事故種別													合計	
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
											転院搬送	医師搬送	資器材輸送		その他
新生児	死亡														
	重症										2				2
	中等症										6				6
	軽症														
	その他														
計											8				8
乳幼児	死亡														
	重症										2				2
	中等症						2			23	1				26
	軽症				1		17			36					54
	その他														
計				1		19			59	3					82
少年	死亡														
	重症														
	中等症						2		1	8	2				13
	軽症				6		13	9		32	1				61
	その他														
計				6		13	11		1	40	3				74
成人	死亡								2	6	1				9
	重症				7	4		10	1	31	20				73
	中等症				9	5		24		10	103	62			213
	軽症				49	17	1	51	2	3	219	9			351
	その他														
計				65	26	1	85	2	16	359	92				646
高齢者	死亡			1			12		2	62	4				81
	重症			10			64			198	80				352
	中等症			14	3		178		3	955	316				1,469
	軽症	3		36	6		157	1		395	17				615
	その他														
計	3			61	9		411	1	5	1,610	417				2,517
合計	死亡			1			12		4	68	5				90
	重症			17	4		74		1	229	104				429
	中等症			23	8		206		14	1,089	387				1,727
	軽症	3		92	23	14	234	3	3	682	27				1,081
	その他														
計	3			133	35	14	526	3	22	2,068	523				3,327

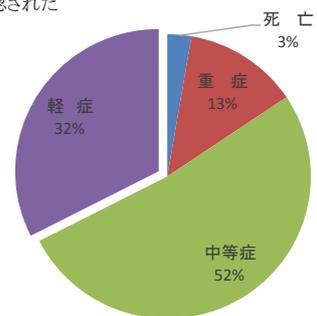
【年齢区分】

新生児: 生後28日未満
 乳幼児: 生後28日以上満7歳未満
 少年: 満7歳以上満18歳未満
 成人: 満18歳以上満65歳未満
 高齢者: 満65歳以上



【傷病程度】

その他: 医師の診断がない及び「その他の場所」へ搬送
 軽症: 入院加療を必要としない
 中等症: 入院加療を必要とするもので重症に至らない
 重症: 3週間以上の入院加療を必要とする
 死亡: 初診時において死亡が確認された

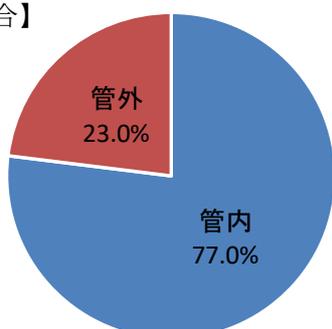


5. 搬送先医療機関の状況(休日・昼夜別)

(単位:名)

搬送先医療機関等		搬送人員				
		計	休日		平日	
			昼間	夜間	昼間	夜間
管内	県立十日町病院	2,231	226	196	1,120	689
	県立松代病院	125	17	2	64	42
	町立津南病院	195	25	16	95	59
	たかき医院	3			1	2
	山口医院(下条)	2			1	1
	小千谷総合病院十日町診療所	3			2	1
	メンタルケア中条	1			1	
	富田医院	1			1	
管外	魚沼基幹病院	477	51	31	263	132
	県立中央病院(上越)	14	4	1	7	2
	魚沼市立小出病院	1			1	
	長岡中央総合病院	25	1	4	10	10
	柏崎総合医療センター	1	1			
	北信総合病院	3		1	1	1
	小千谷総合病院	27	4	4	14	5
	新潟市民病院	1			1	
	西新潟中央病院	1			1	
	南魚沼市民病院	4	1		3	
	南魚沼市立ゆきぐに大和病院	1			1	
	長岡赤十字病院	36	5	6	15	10
	飯山赤十字病院	2			1	1
	立川総合病院	54	5	2	31	16
	齋藤記念病院	44	6	3	20	15
	ドクターヘリ基地病院(信州/佐久総合)	1			1	
	ドクターヘリ基地病院(新潟大学)	2	1		1	
	ドクターヘリ基地病院(長岡赤十字病院)	65	14		51	
	長野県立総合リハビリテーションセンター	1			1	
	長野赤十字病院	1			1	
	湯沢町保健医療センター(湯沢病院)	2	1		1	
	いいやまファミリークリニック	1			1	
	かつみ医院(小千谷)	1			1	
	県立精神医療センター	1				1
		合計	3,327	362	266	1,712

【管内・管外の割合】



※「休日」:日曜日、祝祭日、年末年始

※「昼間」:8時00分～17時59分

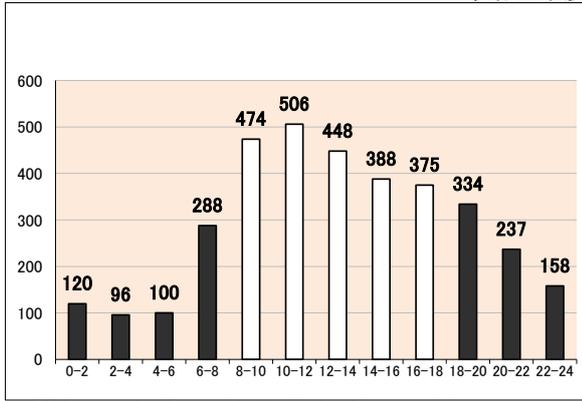
6. 転院搬送人員

搬送先医療機関 転院元医療機関	長岡ドクターヘリ	魚沼基幹病院	魚沼市立小出病院	県立十日町病院	県立松代病院	県立精神医療センター	県立中央病院	小千谷総合病院	新潟市民病院	西新潟中央病院	町立津南病院	長岡赤十字病院	長岡中央総合病院	長野県立総合リハビリテーションセンター	長野赤十字病院	飯山赤十字病院	北信総合病院	立川総合病院	齋藤記念病院	合計	
県立十日町病院	12	142			7	1	1	2		1	6	16	11	1					33		233
県立松代病院		9		11			6												2		28
町立津南病院	3	40		47	1							1	1		1	1	2	4	1		102
十日町中央クリニック		2		23																	25
たかき医院	2	10		2					1												15
小千谷総合病院十日町診療所		2	1					3				1	1								8
山口医院(下条)		9		14									2								25
山口医院(袋町)				12																	12
富田医院		5		44																	49
大淵内科クリニック				2																	2
大熊内科医院				1																	1
池田医院																			1		1
本町クリニック																			1		1
庭野医院	1																				1
上村診療所		1		6															1		8
おおふち眼科				2																	2
メンタルケア中条				1																	1
松之山診療所					1																1
川西診療所		1		7																	8
合計	18	221	1	172	9	1	7	5	1	1	6	18	15	1	1	1	2	42	1		523

※「転院搬送」:現に医療機関に収容されている者を他の医療機関へ搬送すること。

7. 覚知時間帯別救急出動件数

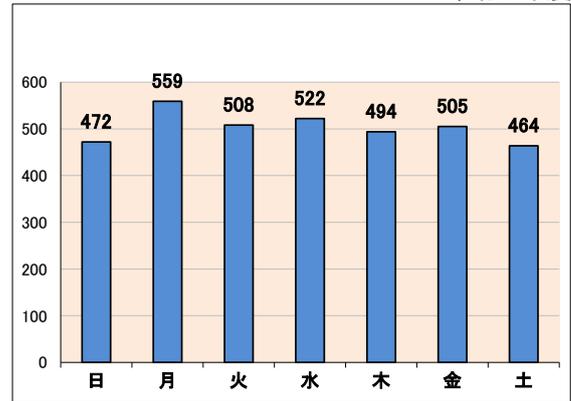
令和5年度



※「覚知」:119番回線が消防機関に接続し受付をした時刻

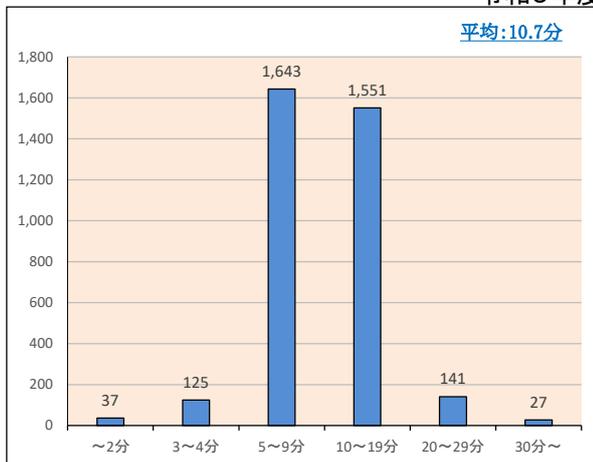
8. 覚知曜日別救急出動件数

令和5年度



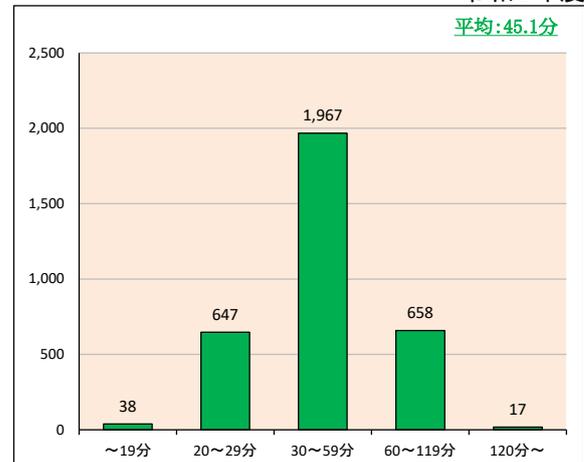
9. 現場到着所要時間別出動件数

令和5年度



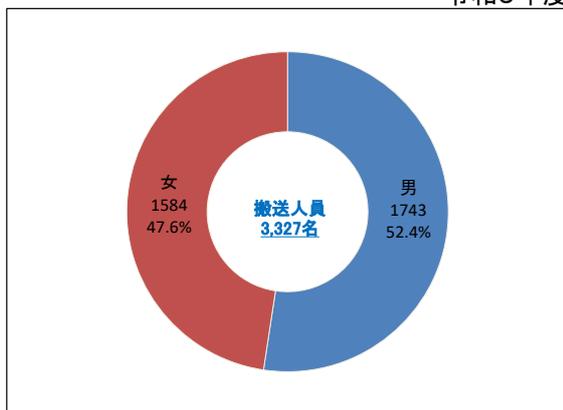
10. 医療機関収容所要時間別搬送人員

令和5年度



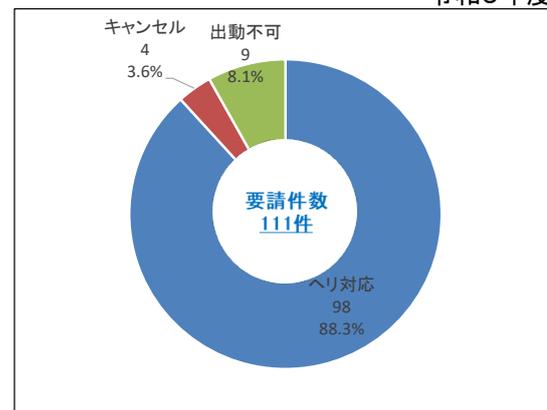
11. 搬送人員の性別割合

令和5年度



12. ドクターヘリの状況

令和5年度



119番受信から現場到着に要した時間						合計
~2分	3~4分	5~9分	10~19分	20~29分	30分~	
37	125	1,643	1,551	141	27	3,524

119番受信から医療機関への搬送に要した時間					合計
~19分	20~29分	30~59分	60~119分	120分~	
38	647	1,967	658	17	3,327

13. 救急救命処置の実施状況等

(各年)

年	救急救命士資格者	搬送人員のうち救急隊が実施した救急救命処置(名)							
		除細動	器具による 気道確保		静脈路確保		薬剤投与		血糖測定
			気管挿管	食道閉鎖式等	CPA	CPA前	アドレナリン	ブドウ糖	
R01	36	11	2	39	71	26	44	10	55
R02	34	8	3	43	51	26	26	11	62
R03	35	4	7	44	52	25	28	5	54
R04	36	2	6	46	52	29	38	8	66
R05	36	5	6	49	48	14	33	8	83

※「CPA」:心肺停止状態

14. 心肺停止症例に関連する数値

(各年)

年	CPA傷病者(名) ①	バイスタンダーによる応急手当				経過等			
		胸骨圧迫 ②	②/①	除細動 ③	③/①	1か月生存 ④	④/①	社会復帰 ⑤	⑤/①
R01	109	73	67.0%	1	0.9%	4	3.7%	1	0.9%
R02	99	66	66.7%	2	2.0%	2	2.0%	1	1.0%
R03	95	59	62.1%	1	1.1%	4	4.2%	1	1.1%
R04	80	44	55.0%	1	1.3%	5	6.3%	1	1.3%
R05	89	57	64.0%	0	0.0%	3	3.4%	0	0.0%

※「バイスタンダー」:けが人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人のこと。

15. 応急手当普及啓発講習の状況

(各年)

区分 年度	普通救命講習 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)		救命入門コース (45分・90分)		上級救命講習		指導者関係講習 (指導員・普及員)				その他の講習		合計	
	回数	受講人数	回数	受講人数	回数	受講人数	養成講習		再講習		回数	受講人数	回数	受講人数
							回数	受講人数	回数	受講人数				
R01	9	97	96	1,940	1	6	8	96	5	68	0	0	119	2,207
R02	0	0	39	438	0	0	0	0	0	0	0	0	39	438
R03	0	0	16	257	0	0	0	0	1	188	8	134	25	579
R04	1	16	51	586	0	0	9	48	2	75	33	101	96	826
R05	3	41	53	854	0	0	2	22	1	7	5	120	64	1,044

【注】

- 普通救命講習Ⅰ：主に成人に対する方法を学ぶ(3時間)
- 普通救命講習Ⅱ：ある程度の頻度で応急手当をすることが想定される方を対象(4時間)
- 普通救命講習Ⅲ：主に乳幼児や小児に対する方法を学ぶ(3時間)
- 救命入門コース90分：胸骨圧迫とAEDの使用方に重点を置いた短時間の講習
- 救命入門コース45分：胸骨圧迫とAEDの使用方に特に焦点を当てた最も短時間の講習
- 応急手当指導員：地域の応急手当普及啓発のため、あらゆる種類の救急講習で指導ができる。
- 応急手当普及員：地区防災組織や事業所等の普及を主な目的として救急講習の指導ができる。



消防團編

消防團編

1. 歴代消防団長・方面隊長

令和6年4月1日

区分	職名	歴代	氏名	就任	退任	備考
十日町市消防団	団長	初代	菅村新藏	昭29.3.31	昭38.3.31	昭和24.4.1～29.3.30 十日町消防団長
		二代	島田善作	昭38.4.1	昭51.4.17	
		三代	波間幸三	昭51.4.20	昭51.11.29	
		四代	樋口朝則	昭51.12.8	昭54.11.5	
		五代	滝沢光義	昭54.11.6	平3.3.31	
		六代	田村久策	平3.4.1	平13.3.31	
		七代	上村久夫	平13.4.1	平19.3.31	平成17.4.1 市町村合併
		八代	富井利明	平19.4.1	平27.3.31	
		九代	樋口茂吉	平27.4.1		現職

区分	職名	歴代	氏名	就任	退任	備考
津南町消防団	団長	初代	清水義男	昭30.1.1	昭37.3.31	
		二代	涌井米造	昭37.4.1	昭45.3.31	
		三代	樋口喜一郎	昭45.4.1	昭59.3.31	
		四代	内山朋次	昭59.4.1	平元.3.31	
		五代	石沢武夫	平元.4.1	平6.3.31	
		六代	吉野重男	平6.4.1	平11.3.31	
		七代	保坂又平	平11.4.1	平15.3.31	
		八代	大口英雄	平15.4.1	平19.3.31	
		九代	樋口正登	平19.4.1	平23.3.31	
		十代	大島則雄	平23.4.1	平30.3.31	
		十一代	滝沢満春	平30.4.1	令4.3.31	
		十二代	涌井隆行	令4.4.1		現職

※川西町・中里村・松代町・松之山町消防団は、平成17年4月1日に旧十日町市消防団と新設合併し、十日町市消防団となる。

区分	職名	歴代	氏名	就任	退任	備考
旧川西町消防団	団長	初代	丸山准二	昭31.9.1	昭40.3.31	
		二代	富井正治	昭40.4.1	昭49.10.14	
		三代	小林申一	昭49.10.15	昭53.3.31	
		四代	登坂敬恒	昭53.4.1	昭59.3.31	
		五代	丸山仁吉	昭59.4.1	昭63.3.31	
		六代	小林義幸	昭63.4.1	平5.3.31	
		七代	清水善三	平5.4.1	平15.3.31	
		八代	上村英雄	平15.4.1	平17.3.31	

区分	職名	歴代	氏名	就任	退任	備考
旧中里村消防団	団長	初代	山本茂一	昭30.3.31	昭32.3.12	昭和26.4.1～30.3.30 田沢村消防団長
		二代	鈴木国一郎	昭32.4.1	昭44.3.31	
		三代	吉楽福一郎	昭44.4.1	昭50.3.31	
		四代	広田宏太郎	昭50.4.1	昭60.3.31	
		五代	樋口正次	昭60.4.1	平10.3.31	
		六代	鑑野寅治	平10.4.1	平15.3.31	
		七代	上原正行	平15.4.1	平17.3.31	

区分	職名	歴代	氏名	就任	退任	備考
旧松代町消防団	団長	初代	柳貞輔	昭27.10.1	昭39.4.30	昭和29.10.1町制施行
		二代	佐藤行男	昭39.5.1	昭44.6.30	
		三代	武田雄一郎	昭44.7.1	昭60.3.31	
		四代	室岡忠俊	昭60.4.1	平6.3.31	
		五代	樋口堅一	平6.4.1	平13.3.31	
		六代	若山幸市	平13.4.1	平14.3.31	
		七代	市川嘉吉	平14.4.1	平17.3.31	

区分	職名	歴代	氏名	就任	退任	備考
旧松之山町消防団	団長	初代	柳政司	昭33.11.1	昭46.5.31	昭和24.4.1～33.10.31 松之山村消防団長
		二代	邨山正堅	昭46.6.1	昭55.3.31	
		三代	山岸長佐久	昭55.4.1	昭58.3.31	
		四代	高橋平八郎	昭58.4.1	昭60.3.31	
		五代	小野塚健一	昭60.4.1	平4.3.31	
		六代	田辺慎一	平4.4.1	平7.6.30	
		七代	飯塚正和	平7.7.1	平12.3.31	
		八代	保坂久美夫	平12.4.1	平17.3.31	

十日町市消防団 歴代方面隊長

方面隊名	歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
十日町	初代	宮 澤 國 一	平17. 4. 1	平21. 3.31	
	二代	児 玉 重 治	平21. 4. 1	平22. 3.31	
	三代	徳 永 稔	平22. 4. 1	平23. 3.31	
	四代	楯 沢 英 和	平23. 4. 1	平25. 3.31	
	五代	村 山 昭	平25. 4. 1	平26. 3.31	
	六代	保 坂 隆 一	平26. 4. 1	平27. 3.31	
	七代	高 野 明	平27. 4. 1	平30. 3.31	
	八代	斎 木 政 文	平30. 4. 1	令 2. 3.31	
	九代	塩 川 芳 和	令 2. 4. 1	令 5. 3.31	現十日町市消防団副団長
	十代	西 方 明	令 6. 4. 1		現職
川 西	初代	柄 澤 克 幸	平17. 4. 1	平19. 3.31	
	二代	田 口 信 雄	平19. 4. 1	平21. 3.31	
	三代	中 條 裕 基	平21. 4. 1	平25. 3.31	
	四代	高 橋 武	平25. 4. 1	平30. 3.31	
	五代	野 沢 政 利	平30. 4. 1	令 2. 3.31	現十日町市消防副団長
	六代	上 原 勝 一	令 2. 4. 1		現職
中 里	初代	富 井 利 明	平17. 4. 1	平19. 3.31	
	二代	樋 口 茂 吉	平19. 4. 1	平22. 3.31	現十日町市消防団長
	三代	樋 口 勝 彦	平22. 4. 1	平27. 3.31	現十日町市消防団副団長
	四代	山 本 勝 久	平27. 4. 1	平30. 3.31	
	五代	羽 鳥 茂 宣	平30. 4. 1	令 4. 3.31	
	五代	高 橋 正 敏	令 4. 4. 1	令 5. 3.31	
	六代	富 井 晶	令 6. 4. 1		現職
松 代	初代	瀬 沼 伸 彦	平17. 4. 1	平22. 3.31	現十日町市消防団副団長
	二代	小 塚 光 夫	平22. 4. 1	平27. 3.31	
	三代	米 持 義 裕	平27. 4. 1	平30. 3.31	
	四代	本 柳 学	平30. 4. 1		現職
松之山	初代	保 坂 久 美 夫	平17. 4. 1	平23. 3.31	
	二代	相 澤 敏	平23. 4. 1	平30. 3.31	
	三代	小 野 塚 茂	平30. 4. 1	令 4. 3.31	
	四代	関 谷 敏 明	令 4. 4. 1		現職

2. 消防団員の報酬(年額)

令和6年4月1日(単位:円)

年報酬基礎額		役 職 加 算 額			
十日町市・津南町消防団		十日町市消防団		津南町消防団	
団 長	132,000				
副 団 長	93,000	総務・訓練・技術・予防・女性部担当	10,000	女性部担当	10,000
		方面隊長	10,000		
		副方面隊長職の教育主幹	7,000	教育主幹	10,000
		副教育主幹	5,000		
分 団 長	66,000	訓練・技術・予防部長	5,000	訓練・技術・予防部長	5,000
副分団長	49,500				
部 長	40,500				
班 長	37,000				
団 員	36,500				

3. 消防団員の出勤手当

区分		演習・訓練・警戒
1回あたり出勤手当金額		
	4時間未満	2,400
	4時間以上	4,000
区分		災 害 (災害に起因する警戒を含む)
職務1回あたり出勤手当金額		
		2時間まで2,400円、2時間を超えた1時間ごとに980円を加算 (1時間未満切上げ)
		災害現場で活動の必要がなかった場合は1,200円

4. 消防団員の退職報償金受給状況

十日町市・津南町

令和5年度	十日町	51	19,917,000
	川西	13	5,810,000
	中里	34	16,060,000
	松代	6	2,968,000
	松之山	7	4,737,000
	津南	39	14,874,000
	合計	150	64,366,000

5. 消防団員の配置状況(実員)

令和6年4月1日(単位:人)

消防団(方面隊)別		階級別							計
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
十日町市消防団	十日町方面隊	1	8	15	12	36	73	660	805
	川西方面隊		2	8	5	11	21	201	248
	中里方面隊		2	8	5	12	23	197	247
	松代方面隊		2	7	4	10	12	72	107
	松之山方面隊		2	8	5	7	13	76	111
津南町消防団		1	2	10	7	28	54	378	480
計		2	18	56	38	104	196	1,584	1,998

6. 消防団員の新任状況

令和5年度(単位:人)

消防団(方面隊)名		区分							合計
		18歳～ 20歳	21歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 35歳	36歳～ 40歳	41歳～ 45歳	46歳～ 50歳	
十日町市消防団	十日町方面隊		2	5	11	7	7	1	33
	川西方面隊	1			3				4
	中里方面隊			1	1		3	1	6
	松代方面隊	2							2
	松之山方面隊			1		1	1		3
津南町消防団		2	8	8	1	2	1		22
合計		5	10	15	16	10	12	2	70

7. 消防団員の退職状況

令和5年度(単位:人)

消防団(方面隊)名		退職事由			在職年数調			
		退職 団員数	死亡による	自己都合	5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上
十日町市消防団	十日町方面隊	57		57	6	6	13	32
	川西方面隊	13	1	12		1		12
	中里方面隊	35	1	34		6	4	25
	松代方面隊	7		7	1	1		5
	松之山方面隊	8		8	1		1	6
津南町消防団		43	1	42	3	14	1	25
合計		163	3	160	11	28	19	105

8. 消防団員の職業別状況

令和5年度(単位:人)

区分		地方公務員	国家公務員	J Aグループ	J A以外の公務員に準ずる職員	日本郵政グループ	左記以外の	自営業	その他	合計
消防団(方面隊)名										
十日町市消防団	十日町方面隊	35	2	47	1	5	608	88	19	805
	川西方面隊	13		15	3	1	191	19	6	248
	中里方面隊	11		13	3	3	194	18	5	247
	松代方面隊	6		5	1	2	78	7	8	107
	松之山方面隊	10	1	19	1		51	27	2	111
津南町消防団		56		30	9	2	298	72	13	480
合計		131	3	129	18	13	1420	231	53	1,998

9. 消防団員の勤続状況

令和5年度(単位:人)

消防団 (方面隊) 別	階級別 年数別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
		十日町市消防団							
十日町方面隊	5年未満							128	128
	5年以上10年未満					4	20	172	196
	10年以上15年未満			1	1	9	32	154	197
	15年以上20年未満			2	6	9	15	97	129
	20年以上25年未満			5	2	8	4	60	79
	25年以上30年未満		2	5	2	6	1	39	55
	30年以上	1	6	2	1		1	10	21
	合計	1	8	15	12	36	73	660	805
	平均勤続年数(年)	43.0	34.4	23.9	19.9	17.6	12.6	11.4	23.3
川西方面隊	5年未満						2	25	27
	5年以上10年未満					1	6	53	60
	10年以上15年未満			3	2	2	6	42	55
	15年以上20年未満			1			5	36	42
	20年以上25年未満		1	4	3	5	1	20	34
	25年以上30年未満		1			2	1	18	22
	30年以上					1		7	8
	合計		2	8	5	11	21	201	248
	平均勤続年数(年)		24.5	18.3	17.2	20.2	12.2	13.3	17.6
中里方面隊	5年未満						1	34	35
	5年以上10年未満					1	6	41	48
	10年以上15年未満					2	6	31	39
	15年以上20年未満		1		2	3	5	41	52
	20年以上25年未満			2	2	6	4	29	43
	25年以上30年未満		1	5	1		1	13	21
	30年以上			1				8	9
	合計		2	8	5	12	23	197	247
	平均勤続年数(年)		23.5	27.4	20.4	18.8	13.9	13.5	19.6
松代方面隊	5年未満						1	11	12
	5年以上10年未満					1	4	9	14
	10年以上15年未満			1		3	3	14	21
	15年以上20年未満			4	4	1	3	14	26
	20年以上25年未満		1	1		2		13	17
	25年以上30年未満		1			1	1	8	11
	30年以上			1		2		3	6
	合計		2	7	4	10	12	72	107
	平均勤続年数(年)		24.5	19.4	17.8	18.3	12.2	15.0	17.9

消防団 (方面隊) 別	階級別 年数別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
		十日町市消防団	松之山方面隊						
	5年未満								
	5年以上10年未満					2	2	10	14
	10年以上15年未満			2		2	4	17	25
	15年以上20年未満				2	1	1	10	14
	20年以上25年未満				1		3	8	12
	25年以上30年未満		1	4	2	1	1	18	27
	30年以上		1	2		1	1	7	12
	合 計		2	8	5	7	13	76	111
	平均勤続年数(年)		35.0	24.8	21.8	17.0	16.1	17.7	18.0
津南町消防団						3	8	67	78
	5年未満								
	5年以上10年未満				2	8	12	77	99
	10年以上15年未満			1		6	8	84	99
	15年以上20年未満			2	4	7	16	72	101
	20年以上25年未満		1	2	1	1	3	45	53
	25年以上30年未満		1	4		3	5	19	32
	30年以上	1		1			2	14	18
	合 計	1	2	10	7	28	54	378	480
	平均勤続年数(年)	33.0	24.5	22.8	15.0	12.7	13.6	12.8	13.2

10. 消防団員表彰状況

令和5年度

表彰区分	所属	十日町市消防団					津南町 消防団	
		十日町方面隊	川西方面隊	中里方面隊	松代方面隊	松之山方面隊		
消防庁 官	褒 状							
	功 労 章							
	永年勤続功労章					4		
県知事	功績章	幹 部	4	2		3	1	1
		教育主幹等						
	20年精勤章	23	11	9	8	4	16	
	30年精勤章	3		1	1	6	9	
日本 消防協会	特別表彰 まとい							
	竿 頭 綬							
	功 績 章	1					1	
	精 績 章	2		2			1	
	勤 続 章	5		1	3	1	6	
県消 防協 会	功績章	幹 部	7	2	1	3	1	1
		教育主幹等						
	10年精勤章	46	13	11	3	5	20	
	20年精勤章	23	11	9	8	4	16	
	30年精勤章	3		1	1	6	9	

11. 消防団員の年齢状況

令和6年4月1日(単位:人)

消防団 (方面隊) 別	階級別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計	
	年齢別									
十日町方面隊	18歳～20歳							2	2	
	21歳～25歳							5	5	
	26歳～30歳						2	35	37	
	31歳～35歳						10	83	93	
	36歳～40歳					6	18	152	176	
	41歳～45歳			2	2	11	19	156	190	
	46歳～50歳			6	6	15	15	124	166	
	51歳～55歳		1	5	3	3	6	66	84	
	56歳以上	1	7	2	1	1	3	37	52	
	合 計		1	8	15	12	36	73	660	805
	平均年齢(歳)		66.0	61.3	50.5	48.9	45.6	42.4	42.4	51.0
川西方面隊	18歳～20歳									
	21歳～25歳							3	3	
	26歳～30歳						1	20	21	
	31歳～35歳				1		2	23	26	
	36歳～40歳			1		1	6	36	44	
	41歳～45歳			1	3	3	6	45	58	
	46歳～50歳			4	1	4	4	42	55	
	51歳～55歳		1	2		2	2	19	26	
	56歳以上		1			1		13	15	
	合 計			2	8	5	11	21	201	248
	平均年齢(歳)			56.0	47.5	41.4	47.8	42.1	42.0	46.1
中里方面隊	18歳～20歳							1	1	
	21歳～25歳							3	3	
	26歳～30歳						1	16	17	
	31歳～35歳					1	3	30	34	
	36歳～40歳					1	4	38	43	
	41歳～45歳			1	1	4	12	36	54	
	46歳～50歳		1	2	2	4	1	42	52	
	51歳～55歳		1	2	2	2	2	21	30	
	56歳以上			3				10	13	
	合 計			2	8	5	12	23	197	247
	平均年齢(歳)			50	53	49.2	45	41.8	41.8	46.8

消防団 (方面隊) 別	階級別 年令別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計	
		十日町市 消防団	松代方面隊	18歳～20歳						3
21歳～25歳							1	2	3	
26歳～30歳							1	5	6	
31歳～35歳					1		2	3	12	18
36歳～40歳						2	2	3	9	16
41歳～45歳				1	4	2	2	3	19	31
46歳～50歳				1	1		3	1	7	13
51歳～55歳							1		12	13
56歳以上					1				3	4
合 計				2	7	4	10	12	72	107
平均年齢(歳)			47.5	43.9	41.3	42.1	36.8	40.8	42.1	
十日町市 消防団	松之山方面隊	18歳～20歳								
		21歳～25歳						4	4	
		26歳～30歳						5	5	
		31歳～35歳					1	5	6	
		36歳～40歳					3	3	9	15
		41歳～45歳			2	2	1	5	13	23
		46歳～50歳			2	3		3	23	31
		51歳～55歳		1	2		2	1	15	21
		56歳以上		1	2		1		2	6
		合 計		2	8	5	7	13	76	111
	平均年齢(歳)		56.5	50.4	45.4	46.0	43.7	43.7	47.6	
十日町市 消防団	18歳～20歳							6	4	
	21歳～25歳						1	17	33	
	26歳～30歳						5	81	97	
	31歳～35歳			1	1	3	19	153	192	
	36歳～40歳			1	2	13	34	244	319	
	41歳～45歳		1	10	10	21	45	269	367	
	46歳～50歳		2	15	12	26	24	238	325	
	51歳～55歳		4	11	5	10	11	133	156	
	56歳以上	1	9	8	1	3	3	65	90	
	合 計	1	16	46	31	78	144	1267	1583	
	平均年齢(歳)	66.0	54.3	49.0	45.2	45.3	41.4	42.1	49.0	
津南町 消防団	18歳～20歳							2	2	
	21歳～25歳						1	18	19	
	26歳～30歳					5	10	47	62	
	31歳～35歳					4	10	63	77	
	36歳～40歳				3	8	12	93	116	
	41歳～45歳			3	2	5	12	68	90	
	46歳～50歳			6	2	3	2	46	59	
	51歳～55歳			1		2	5	24	32	
	56歳以上	1	2			1	2	17	23	
	合 計	1	2	10	7	28	54	378	480	
	平均年齢(歳)	59.0	58.0	47.0	43.4	39.2	38.8	39.2	46.4	

12. 消防団の出動状況

区分	種別	火災		救助活動	風水害等の災害	演習・訓練	警防査察	特別警戒	搜索	その他	計	
			うち建物以外									
十日町市消防団	方面隊十日町	出回数	8	1		84		1	1	9	103	
		延人員	220	5			2,717		53	53	21	3,064
	方面隊西川	出回数	4	1			24					28
		延人員	83	12			886					969
	方面隊中里	出回数					26				1	27
		延人員					936				9	945
	方面隊代松	出回数	1	1			24		1	1		27
		延人員	26	26			336		17	17		396
方面隊山之松	出回数					22				2	24	
	延人員					256				15	271	
消防団津南町	出回数	6	4			35		1	1	2	45	
	延人員	175	89			1,392		53	53	27	1,700	
合計	出回数	19	7	0	0	215	0	3	3	14	254	
	延人員	504	132	0	0	6,523	0	123	123	72	7,345	

13. 消防団員一般教育訓練、訓練実施状況

区分	種別	演習訓練 (春・秋・出初式)	幹部訓練	水防訓練	ポンプ 操法訓練	消防学校 校外講習	機関員 訓練	新入団員 訓練	その他	計	
		回数	8	1	2	57	1	2	1	12	84
十日町市消防団	方面隊十日町	延人員	1,592	57	51	786	114	41	46	30	2,717
		方面隊西川	回数	4			12	1	1		6
方面隊中里	延人員		603		31	178	38	26		10	886
	方面隊代松	回数	7			13	1	1	1	3	26
方面隊山之松		延人員	504		30	288	50	46	13	5	936
	消防団津南町	回数	5			8	1	2	1	7	24
合計		延人員	177		16	73	23	10	4	33	336
	合計	回数	7			7	1	5	1	1	22
合計		延人員	145		16	53	22	16	3	1	256
	合計	回数	5	1		13	1	2	1	12	35
合計		延人員	791	41	31	303	84	87	22	33	1,392
	合計	回数	36	2	2	110	6	13	5	41	215
合計		延人員	3,812	98	175	1,681	331	226	88	112	6,523

14. 消防団車両・ポンプ一覧表

(十日町市消防団)

令和6年4月1日

分団名	器具置場	区分	登録年月日	車齢	メーカー	ポンプ区分	配置年月日	ポンプ年数	その他積載品		
第2分団	3部1班	江道	軽積載車	H17.12.16	18	三菱	B-3レビット	H18.1.10	18		
第3分団	自動車部	稲荷町	消防車	H20.3.21	16	トヨタ	A-2モタ	H20.3.31	16	投光器一式	
	1部1班	島	軽積載車	H26.9.11	9	ダイハツ	B-3シハウラ	H26.9.11	9		
第4分団	1部1班	川治	軽積載車	H19.11.16	16	三菱	B-3トーハツ	H19.11.29	16		
	2部2班	山本	軽積載車	H29.10.27	6	ダイハツ	B-3トーハツ	H29.11.9	6		
	4部1班	羽根川	軽積載車	H18.9.27	17	三菱	B-3シハウラ	H18.9.27	17		
	4部2班	二ツ屋	軽積載車	H27.10.7	8	スズキ	B-3レビット	H27.10.27	8		
第5分団	自動車部	四日町	消防車	S59.10.31	39	ニッサン	A-2	S59.10.31	36		
第6分団	1部3班	中条旭町	軽積載車	H20.9.11	15	三菱	B-3トーハツ	H20.9.27	15		
	2部3班	北原	軽積載車	H24.9.20	11	スズキ	B-3レビット	H24.9.20	11		
第9分団	1部1班	新水	軽積載車	H25.9.24	10	スズキ	B-3シハウラ	H25.9.24	10		
	1部1班	吉田山谷	軽積載車	H26.9.11	9	ダイハツ	B-3シハウラ	H26.9.11	9		
第10分団	1部1班	鏡坂	軽積載車	H30.11.15	5	ダイハツ	B-3トーハツ	H30.11.27	5		
	2部1班	鉢	軽積載車	H23.11.7	12	三菱	B-3シハウラ	R1.11.26	4		
第11分団	自動車部	下条本町	消防車	H5.3.24	31	三菱	A-2	H23.3.27	13		
	4部1班	澁野	軽積載車	R2.11.18	3	スズキ	B-3シハウラ	R2.11.18	3		
第12分団	1部1班	馬水	軽積載車	R1.11.14	4	スズキ	B-3シハウラ	R1.12.14	4		
	2部2班	沢入り	軽積載車	H27.10.7	8	スズキ	B-3レビット	H27.10.7	8		
第13分団	自動車部	土市	消防車	H22.10.4	13	いすゞ	A-2	H22.10.4	13		
	1部2班	細尾	軽積載車	H28.10.6	7	スズキ	B-3シハウラ	H28.10.6	7		
第14分団	2分2班	安養寺	軽積載車	H24.9.20	11	スズキ	B-3レビット	H24.9.20	11		
	1部1班	伊達	軽積載車	H19.3.28	17	三菱	B-3シハウラ	H19.3.30	17		
川西方面隊	本部分団	1部1班	山野田	軽積載車	H26.9.12	9	ダイハツ	B-3シハウラ	H26.10.2	9	
		2部1班	中央町	消防車	H8.11.26	27	トヨタ	A-2モタ	H8.11.25	27	
	第1分団	1部1班	中屋敷	軽積載車	H14.10.29	21	三菱	B-3シハウラ	H3.8.12	32	
		2部1班	坪山	積載車	H7.10.3	28	ニッサン	B-3シハウラ	H7.10.6	28	
	第2分団	1部1班	上野	軽積載車	H27.10.7	8	スズキ	B-3レビット	H27.10.7	8	
		1部3班	川辺	軽積載車	R1.11.14	4	スズキ	B-3シハウラ	R1.12.14	4	
	第3分団	1部1班	橋	軽消防車	H28.10.6	7	三菱	B-3ネイチャー	H28.10.6	7	
		1部3班	原田	軽積載車	H27.10.7	8	スズキ	B-3レビット	H27.10.7	8	
	第4分団	1部1班	中仙田	軽消防車	H28.10.6	7	三菱	B-3ネイチャー	H28.10.6	7	
		1部2班	室島	軽積載車	H9.10.3	26	ダイハツ	B-3シハウラ	H5.10.13	30	
		2部1班	赤谷	軽積載車	H10.8.25	25	ダイハツ	B-3レビット	H17.10.31	18	
	中里方面隊	本部分団	1部1班	上山	消防車	H27.11.11	8	日野	A-2モタ	H27.11.11	8
1部2班			上山	軽積載車	R5.2.3	1	スズキ	B-3トーハツ	R5.2.3	1	
第1分団		1部3班	如来寺	軽積載車	H29.10.24	6	ダイハツ	B-3トーハツ	H29.10.24	6	
		2部2班	小原	軽積載車	H21.12.25	14	三菱	B-3レビット	H24.8.30	11	
第2分団		1部2班	倉俣	軽積載車	H24.9.20	11	スズキ	B-3レビット	H24.8.30	11	
		1部2班	朴木沢	軽積載車	H27.10.7	8	スズキ	B-3レビット	H27.10.7	8	
第3分団		4部2班	小出	軽積載車	H24.12.17	11	三菱	B-3シハウラ	H24.12.20	11	
		1部2班	堀之内	軽積載車	R2.11.17	3	スズキ	B-3トーハツ	R2.11.27	3	
第4分団	2部1班	本屋敷	軽積載車	H30.11.15	5	ダイハツ	B-3シハウラ	H30.11.27	1		
	1部1班	松代	軽積載車	R5.2.3	1	スズキ	B-3トーハツ	R5.2.3	1		
松代方面隊	本部分団	1部2班	松代	軽積載車	H21.12.25	14	三菱	B-3シハウラ	H19.11.24	16	
		1部3班	松代	消防車	H30.3.13	6	日野	A-2モタ	H30.3.13	6	
	第1分団	3部1班	千年	軽積載車	H20.9.11	15	三菱	B-3トーハツ	H20.9.28	15	
		4部1班	蓬平	軽積載車	H21.11.18	14	三菱	B-3トーハツ	H26.8.19	9	
	第2分団	1部1班	大伏	軽積載車	H2.11.22	33	スズキ	B-3シハウラ	R2.11.27	3	
		1部1班	室野	軽積載車	R1.11.14	4	スズキ	B-3シハウラ	R1.11.28		
第3分団	2部1班	儀明	軽積載車	H23.12.12	12	三菱	B-3トーハツ	H23.11.30	12		
	1部1班	松之山	消防車	H6.1.6	30	ニッサン	A-2モタ	H6.1.20	30		
松之山方面隊	本部分団	1部2班	新山	軽積載車	H15.9.29	20	三菱	B-3シハウラ	H15.10.2	20	
		1部2班	湯山	軽積載車	H25.9.24	10	スズキ	B-3シハウラ	H25.10.11	10	
	第1分団	1部3班	川手	軽積載車	H15.10.6	20	三菱	B-3シハウラ	H28.10.6	3	
		自動車部	湯本	消防車	H28.10.13	7	日野	A-2モタ	H28.10.13	7	
	第2分団	2部1班	天水越	軽積載車	H23.12.12	12	三菱	B-3トーハツ	H23.8.26	12	
		1部1班	東川	軽積載車	H20.9.11	15	三菱	B-3トーハツ	H20.10.19	15	
	第3分団	1部2班	上之山	軽積載車	H21.11.18	14	三菱	B-3シハウラ	R2.9.4	3	
		1部3班	豊田	軽積載車	H27.10.7	8	スズキ	B-3レビット	H27.10.7	8	
合計								消防車	9台		
								軽消防車	2台		
								積載車	1台		
								軽積載車	47台		

(津南町消防団)

分団名	器具置場	区分	登録年月日	車齢	メーカー	ポンプ区分	配置年月日	ポンプ年数	その他積載品	
本部分団	自動車部1班	大割野	軽消防車	H25.3.12	10	三菱	B-3ネイチャー	H26.3.29	9	
	自動車部2班	陣場下	消防車	H28.10.13	6	日野	A-2モリタ	H28.10.13	6	
第1分団	1部1班	正面	軽積載車	H25.9.24	9	スズキ	B-3トーハツ	H25.10.17	9	
	2部2班	十二ノ木	軽積載車	H20.8.26	14	三菱	B-3シハウラ	H6.9.8	28	
第2分団	2部1班	外丸	積載車	H11.9.30	23	トヨタ	B-3シハウラ	H11.10.3	23	
第3分団	1部1班	大井平	積載車	H12.1.11	23	ニッサン	B-3レビット	H12.1.20	23	
	4部2班	加用	軽積載車	H24.9.20	10	スズキ	B-3レビット	H24.8.30	10	
	6部1班	寺石	軽積載車	H27.10.7	7	スズキ	B-3レビット	H27.10.7		
第4分団	1部1班	赤沢	軽積載車	H23.11.7	11	三菱	B-3シハウラ	H18.10.1	16	
	3部1班	相吉	軽積載車	H21.11.26	13	スバル	B-3レビット	H13.10.5	21	
第5分団	1部1班	秋成	軽積載車	H28.10.6	6	スズキ	B-3シハウラ			
	3部2班	見玉	積載車	H11.9.27	23	トヨタ	B-3レビット	H11.10.3	23	
	4部1班	結束	軽積載車	H17.12.16	17	三菱	B-3トーハツ	H3.8.20	31	
第6分団	1部2班	船山	軽積載車	H21.11.18	13	三菱	B-3レビット	H21.11.18	13	
	3部1班	米原	軽積載車	H26.9.11	8	ダイハツ	B-3シハウラ	H26.10.8	8	
	3部2班	堂平	軽積載車	H7.7.30	27	スバル	B-3トーハツ	H30.11.27	4	
合計								消防車	1台	
								軽消防車	1台	
								積載車	3台	
								軽積載車	11台	

15. 消防団小型動力ポンプ一覧表

(十日町市消防団)

分団名	ポンプ区分・台数	
	B-3(内B-2)	C-1
第1分団	4	
第2分団	6	1
第3分団	5	
第4分団	6	1
第5分団	4	1
第6分団	7	1
第9分団	5	
第10分団	4	
第11分団	8	
第12分団	6	1
第13分団	4	
第14分団	3	
合計	62	5

分団名	ポンプ区分・台数	
	B-3	C-1
本部分団	2	
第1分団	4	3
第2分団	4	
第3分団	3	1
合計	13	4

分団名	ポンプ区分・台数	
	B-3	C-1
本部分団	1	
第1分団	3	
第2分団	2	2
第3分団	2	
第4分団	2	
合計	10	2

分団名	ポンプ区分・台数	
	B-3	C-1
本部分団	3	
第1分団	4	
第2分団	5	
第3分団	4	
第4分団	2	
合計	18	

(津南町消防団)

分団名	ポンプ区分・台数	
	B-3	C-1
本部分団	7	2
第1分団	7	
第2分団	5	1
第3分団	12	1
第4分団	7	
第5分団	7	
第6分団	6	
合計	51	4

分団名	ポンプ区分・台数	
	B-3	C-1
本部分団	1	
第1分団	7	
第2分団	4	
第3分団	6	
第4分団	4	
合計	22	

ポンプ区分・台数	B-3	C-1
管内総合計	176	15

16. 消防団幹部名簿

令和6年4月1日

消防団名及び所属		階 級	職 名	氏 名	
十日町市消防団	団本部	団 長		樋 口 茂 吉	
		副 団 長	(総 務 担 当)	佐 藤 正 徳	
		副 団 長	(訓 練 担 当)	樋 口 勝 彦	
		副 団 長	(技 術 担 当)	瀬 沼 伸 彦	
		副 団 長	(予 防 担 当)	塩 川 芳 和	
		副 団 長	(女 性 部 担 当)	野 沢 政 利	
	十日町方面隊	副 団 長	方 面 隊 長	西 方 明	
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	山 崎 秀 明	
		副 団 長	副 方 面 隊 長 副 教 育 主 幹	藤 卷 格	
	川西方面隊	副 団 長	方 面 隊 長	上 原 勝 一	
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	押 木 勤	
	中里方面隊	副 団 長	方 面 隊 長	富 井 晶	
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	桑 原 公 司	
	松代方面隊	副 団 長	方 面 隊 長	本 柳 学	
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	小 塚 悟	
	松之山方面隊	副 団 長	方 面 隊 長	関 谷 敏 明	
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	小 野 塚 和 生	
	津南町消防団		団 長		涌 井 隆 行
			副 団 長	教 育 主 幹	金 子 敦
			副 団 長	(女 性 部 担 当)	小 島 祐 二



2024年 消防年報 (令和5年版)

令和6年8月 発行

TOKAMACHI
NIIGATA

編集発行 十日町地域消防本部 総務課企画広報係

〒948-0007 新潟県十日町市四日町新田 1041 番地

TEL (025) 757-0119 FAX (025) 757-8499

e-mail tfd119@tokamachi-kouiki.jp